

# 小山市 絹地区

## 風土性調査

### 「田園環境都市おやま」のまちづくりに向けた アンケート調査 集計結果報告

実施令和5年11月～令和6年1月

#### 実施方法1：紙の調査票

- ・11月末に自治会/班ごとに仕分けしたものを絹公民館に納品させていただき、12月の広報回覧時におよび自治会長・班長の皆様の協力をいただき、各世帯に調査票と依頼書を入れたワンタッチ式封筒を各世帯に配布していただいた。
- ・12月27日：回答を記入した調査票を封筒に入れ封をして、各世帯から班長へ、班長から自治会長へ、そして自治会長から公民館へ納めていただいた。

#### 実施方法2：インターネット回答

- ・紙の調査票の配布と並行して、アンケートに回答した方以外の家族も回答いただける場合の受け皿として、グーグルフォームを開設。そのフォームの案内を封筒に入れた依頼書、および自治会回覧にて行なった。

#### 回答数

- ・969件：（紙の調査票による回答：948、インターネット回答：21）
- ・調査票での回収率：70.0%（1354世帯中）

2024/3/17

小山市総合政策部田園環境都市推進課 実施・集計/有限責任事業組合 風景社

P03 依頼書と調査票

---

P10- 1. 回答者の基本情報

- 01 性別    02 年齢    03 世帯の人数    04 職業    05 お住まいの大字  
06 地域活動の経験    07 絹地区との関わり
- 

P13- 2. 現在の生活圏

---

P15- 3. 地域資源への認知度・関心度 [単純集計]

P17- 3. 地域資源への認知度・関心度 [年代別クロス集計]

---

P20- 4. 地区の困りごと [単純集計]

P21- 4. 地区の困りごと [年代別クロス集計]

P22- 4. 地区の困りごと [自由記述]

---

P26- 5. 地区で大切に守りたいもの [単純集計]

P27- 5. 地区で大切に守りたいもの [年代別クロス集計]

P28- 5. 地区で大切に守りたいもの [自由記述]

---

P30- 6. 暮らしの価値観 [単純集計]

---

P32- 7. 望ましい小山市の都市環境のあり方 [単純集計]

P33- 7. 望ましい小山市の都市環境のあり方 [クロス集計：年代との相関]

P34- 7. 望ましい小山市の都市環境のあり方 [自由記述：テーマごとに分類して掲載]

1 | 小山市域の都市（地域）環境のあり方について

- 1 平地林保全                      2 田園環境と都市環境の調和  
3 農業について                      4 商工業の誘致や振興について  
5 市街化調整区域について、市の開発や事業から利残されている印象について  
6 空き家・空き地の問題について

P50- 2 | 移動と交通

- 1 車での移動について                      2 公共交通機関について  
3 高齢化社会と脱・車社会について

P53- 3 | 生活環境や福祉などについて

- 1 教育、子育て世代・若い世代について                      2 高齢化社会について  
3 地域コミュニティ、共生社会について                      4 安全・安心な環境について

P56- 4 | 以上に分類されないご意見など

P59 5 | これからのまちづくり、未来ビジョンへの総合的なご意見

絹地区 「田園環境都市 おやま」のまちづくりに向けたアンケート

絹地区にお住まいの皆様

小山市では、自然環境が豊かな田園地帯と、J R小山駅周辺などの都市部とが、より良い関係性を結びながら調和がとれた姿を「田園環境都市おやま」と呼び、将来の世代に負担を残さない持続的なまちづくりに取り組もうとしています。

この度、「田園環境都市おやま」がどうあるべきか、市民の皆様とともに考えるため、アンケートを実施することになりました。

つきましては、ご多忙中恐れ入りますが、以下をご覧くださいアンケートのご協力をお願いいたします。アンケート結果は、集計・考察を行い、令和6年2月に絹地区の皆様へ報告会を開催したいと考えておりますのでご承知おきください。

なお、アンケートの回答は、目的以外に使用しないほか、公開する報告書等においても回答者個人の特定を招くような引用はいたしません。

ご不明な点がございましたら、担当課（田園環境都市推進課）までご連絡ください。

◎ アンケート提出方法

- 1 各世帯の皆様は—アンケートが入っていた長3サイズの封筒に入れ封をして

【12月19日（火）】までに各自治会班長にお渡しください。

- 2 班長の皆様は—班内で集まったアンケート入りの封筒を

【12月22日（金）】までに各自治会長にお渡しください。

- 3 自治会長の皆様は 【12月27日（水）】までに絹公民館へお持ちください。

◎ 2人目以降からの回答について

各世帯におきまして、紙のアンケートにご回答された方以外にもご協力いただける方は、右のフォームよりスマートフォンやパソコンからでもご回答いただけます。

※アンケートの内容は、紙のアンケートと同一です。

※入力締め切りは【令和6年1月15日（月）】です。

※この回答フォームでは、メールアドレスなど個人情報の収集は行っておりませんので安心してご回答ください。



◎ アンケート実施：有限責任事業組合 風景社

◎ お問い合わせ先：小山市田園環境都市推進課（電話：0285-22-9379）

【1】 以下について教えてください。

選択肢があるものは、当てはまるものを選んで、番号に○（マル）をつけてください。

01 | 性 別 [ ]

02 | 年 齢 [ ①20 代以下 ②30 代 ③40 代 ④50 代 ⑤60 代 ⑥70 代以上 ]

03 | 同居の世帯人数 [ ①ご本人 1 人 ②2 人 ③3 人 ④4 人以上 ]

04 | 職 業 [ ①会社員 ②公務員 ③団体職員 ④自営業 ⑤農業（専業） ⑥農業（兼業）  
⑦パート/アルバイト ⑧学生 ⑨無職（退職者や主婦・主夫の方などを含む）  
⑩その他（ ） \* 農家（兼業）の方は複数回答可です。農業以外の仕事もお選び下さい。 ]

05 | お住まいの大字

[ ①田川 ②延島新田 ③延島 ④高椅 ⑤福良 ⑥中島 ⑦梁 ⑧中河原 ]

06 | 地域活動の経験があるものを選んで、番号に○（マル）をつけてください。 \* 複数選択も可です。

[ ①自治会役員 ②消防団 ③氏子/檀家の組織 ④PTA ⑤育成会・子供会 ⑥任意団体  
⑦その他（ ） ]

07 | 絹地区との関わりについて当てはまるものを選んで、番号に○（マル）をつけて  
ください。

選択肢

- ①絹地区で生まれて、一度も地区外で住むことなく、今に至る。
- ②絹地区で生まれて、進学のために数年間、地区外へ出て、卒業後に絹地区に戻った。
- ③絹地区で生まれて、就職のために地区外へ出て絹地区に戻った。
- ④絹地区で生まれて、進学のために地区外へ出て地区外で就職し、  
のちに絹地区に戻った
- ⑤小山市の他の地区で生まれ育ち、絹地区に移り住んだ。
- ⑥栃木県内の他の市町で生まれ育ち、絹地区に移り住んだ。
- ⑦栃木県外で生まれ育ち、絹地区に移り住んだ。

②～⑦を選んだ方は、戻った理由や移り住んだ理由を差し支えない範囲で教えてください。

[ ]

【2】あなたご自身の日々の暮らしの生活圏について教えてください。

選択肢

- |            |             |
|------------|-------------|
| ①絹地区       | ⑪宇都宮市       |
| ②小山地区（駅西）  | ⑫栃木県内の他の市町  |
| ③小山地区（駅東）  | ⑬茨城県結城市     |
| ④桑地区       | ⑭茨城県（結城市以外） |
| ⑤間々田地区     | ⑮東京都        |
| ⑥大谷北部・中部地区 | ⑯埼玉県        |
| ⑦大谷南部地区    | ⑰群馬県・千葉県    |
| ⑧穂積地区・中地区  | ⑱その他        |
| ⑨豊田地区      |             |
| ⑩寒川地区・生井地区 |             |

- （1）仕事や学校へ通っている地域を、上の選択肢から選んで〔回答欄〕に番号を記入してください。  
複数ある場合は、メインの地域1つのみ、お答えください。

|    |  |
|----|--|
| 回答 |  |
|----|--|

- （2）日常的な買い物や用事で、よく出かける地域を、上の選択肢から選んで〔回答欄〕に番号をご記入ください。複数ある場合は、メインの地域1つのみ、お答えください。

|    |  |
|----|--|
| 回答 |  |
|----|--|

- （3）休みの日に「特別な買い物」「会食」「イベント」などでよく出かける地域の上位2つを、上の選択肢から選んで番号を〔回答欄〕に記入してください。

|    |  |  |
|----|--|--|
| 回答 |  |  |
|----|--|--|

⑫栃木県内の他の市町、⑱その他を選んだ方は市町村を教えてください（ ）

- （4）休みの日に「自然の中でリフレッシュ」したり「アウトドアスポーツ」を楽しんだりするためによく出かける地域の上位2つを、上の選択肢から選んで番号を〔回答欄〕に記入してください。

|    |  |  |
|----|--|--|
| 回答 |  |  |
|----|--|--|

⑫栃木県内の他の市町、⑱その他を選んだ方は市町村を教えてください（ ）

【3】絹地区の地域資源についての認知度や関心度についてお尋ねします。

下記のそれぞれについて当てはまる番号を選んで〔回答欄〕にご記入ください

(1) 絹地区の歴史や、歴史的な寺社について

A：絹地区のなりたちの歴史や、近隣に残る史跡や神社・寺の歴史、由緒、祭りなどを知っていますか？

①良く知っている ②まあまあ知っている ③あまり知らない ④全く知らない

B：絹地区のこのような歴史や、文化財、祭り、伝統芸能に関心がありますか？

①とても関心がある ②まあまあ関心がある ③あまり関心がない ④全く関心がない

|      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| A 回答 |  | B 回答 |  |
|------|--|------|--|

(2) 絹地区に残る自然環境について

A：絹地区にある公園、街路樹、平地林などについて

①良く知っている ②まあまあ知っている ③あまり知らない ④全く知らない

B：絹地区に残る自然環境に関心がありますか？

①とても関心がある ②まあまあ関心がある ③あまり関心がない ④全く関心がない

|      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| A 回答 |  | B 回答 |  |
|------|--|------|--|

(3) 絹地区で行われている農業について

A：どのような地域で、どのような農業が行われているかについて

①良く知っている ②まあまあ知っている ③あまり知らない ④全く知らない

B：地区内で行われている農業に関心がありますか？

①とても関心がある ②まあまあ関心がある ③あまり関心がない ④全く関心がない

|      |  |      |  |
|------|--|------|--|
| A 回答 |  | B 回答 |  |
|------|--|------|--|

【4】あなたが「無くしたい」「解消したい」「解決したい」と考える、絹地区の困りごとは、どんなことでしょうか？ 選択肢の中から3つ選んで番号を「回答欄」にご記入ください。

選んだ項目について、特に理由やご意見がありましたら「コメント」にご記入ください。

選択肢

- |                    |                               |
|--------------------|-------------------------------|
| ①地域活動の担い手・後継者不足    | ⑫子どもが外遊びできる場所の減少              |
| ②農業の担い手・後継者不足      | ⑬選択肢が少ない働く場所                  |
| ③祭りや伝統芸能の担い手・後継者不足 | ⑭買い物の不便さ                      |
| ④地域の集まりや寄合い        | ⑮医療機関の不足                      |
| ⑤昔からの風習            | ⑯交通渋滞                         |
| ⑥地域でのコミュニケーション不足   | ⑰道路（幅の狭さ・繋がり具合の悪さ等）           |
| ⑦騒音などの住環境への影響      | ⑱公共交通の不便さ（バスの状況やＪＲ駅までのアクセスなど） |
| ⑧空き家・空き地の増加        | ⑲台風や大雨による被害（道路の冠水など）          |
| ⑨治安の悪化             | ⑳路上や公園などのゴミやゴミ出しのマナー          |
| ⑩人口減少              | ㉑その他（ ）                       |
| ⑪選択肢が少ない教育環境       |                               |

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 回答 |  |  |  |
|----|--|--|--|

|      |
|------|
| コメント |
|------|

【5】あなたが「大切に守っていききたい」と考える、絹地区の「小さな自慢」はどんなことでしょうか？ 選択肢の中から3つ選んで番号を「回答欄」にご記入ください。

選んだ項目について、特に理由やご意見がありましたら「コメント」にご記入ください。

選択肢

- |                            |                        |
|----------------------------|------------------------|
| ①地域に残る歴史ある史跡、神社やお寺         | ⑦交通の利便性                |
| ②各地域に残る祭りや風習、伝統芸能          | ⑧買い物の利便性               |
| ③各地域に残る歴史ある建物や古木           | ⑨街路樹や公園、平地林などまちなかに残る自然 |
| ④消防団や自治会活動等、<br>地域の助け合いの活動 | ⑩まちなみや景観               |
| ⑤公民館で行われる祭りやイベント           | ⑪地域の農業                 |
| ⑥趣味やスポーツの地域のサークル活動         | ⑫地域の商業                 |
|                            | ⑬地域の工業                 |
|                            | ⑭その他（ ）                |

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 回答 |  |  |  |
|----|--|--|--|

|      |
|------|
| コメント |
|------|

【6】 あなたご自身の日頃の暮らしの中での考えを教えてください。

(1) 日頃の暮らしの中で「充足感を感じる」のは、どんな時ですか？

選択肢の中から当てはまるものを3つ選んで番号を「回答欄」にご記入ください。

选择肢

- ①仕事に打ち込んでいる時  
②勉強や教養などに身を入れている時  
③趣味やスポーツに熱中している時  
④ゆったりと休養している時  
⑤家族だんらの時  
⑥友人や知人と会合、雑談している時  
⑦社会奉仕や社会活動をしている時  
⑧その他（ ）

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 回答 |  |  |  |
|----|--|--|--|

(2) あなたにとって「豊かさを感じる幸福な暮らし」は、どのようなことでしょうか？ 豊かさや幸福の実現に「最も大切だと思うもの」を3つ選んで番号を「回答欄」にご記入ください。

選択肢

- ①家電や車など物質的に満ち足りた環境で暮らせること
- ②モノはあまり所有せずに、できるだけシンプルに身軽に暮らせること
- ③好きなことができるだけのお金や資産のゆとりがあること
- ④好きなことをする時間のゆとりがあること
- ⑤情報や商品が手に入りやすく文化芸術に触れる機会が多い都会で暮らせること
- ⑥自然に恵まれた環境の中で、またはその近くで暮らせること
- ⑦家庭菜園や花づくりなど、土に触れる時間があること
- ⑧地域の伝統や文化を絶やさず継承し、次の世代に引き渡す活動ができること
- ⑨日本各地、世界各国の農産物や商品が手に入る環境で暮らすこと
- ⑩住んでいる地域でつくられている農産物や商品が手に入る環境で暮らすこと
- ⑪社会的な地位を築き、名が知れた存在になること
- ⑫困っている人の役に立てる活動や、地域、社会の役に立てること
- ⑬心も体も健康でいられること
- ⑭家族や親戚、友人や地域の人たちと助け合って生活すること
- ⑮老後、災害、犯罪や戦争などの心配がなく、安心して安全に暮らせること
- ⑯その他（ ）

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 回答 |  |  |  |
|----|--|--|--|



【7】最後に、小山市のこれからのまちづくりについて、お考えやご意見をお聞かせください。

(1) 20年後、30年後の望ましい小山市の都市環境のあり方について、ご意見をお尋ねします。

A から G それぞれについて、選択肢の中からお考えに合うものを選び、番号を「回答欄」にご記入ください。また、そう考える理由や、実現のためのご意見などありましたら、

(2) の自由記述欄にお書きください。

選択肢 ①そう望む ②どちらかといえば望む

③どちらかといえば望まない ④望まない ⑤わからない

(A) 商業・工業が発展し、工業団地も増え経済的な成長や活力が重んじられている小山市

(B) 地域の農業が大切にされ、地産地消が進み、市域内の食料自給率が上がっている小山市

(C) 環境保全型の農業によって自然環境も良好に保たれ、コウノトリも増えている小山市

(D) 空き地や平地林などに新しい宅地開発が進み、定住する若い世代や移住者が増える小山市

(E) 空き家の改修や利活用が進み、あるものを大切にした住宅整備やまちづくりが進む小山市

(F) 公共交通機関の整備や、徒歩や自転車で安全・快適に移動できるまちづくりが進む小山市

(G) 車社会に対応して、駐車場やバイパスの整備など、車での移動が快適になる小山市

|    |   |   |   |   |   |   |   |
|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答 | A | B | C | D | E | F | G |
|----|---|---|---|---|---|---|---|

(2) 最後に、お考えやご提案を自由にお書きください。

\*例えば、上記の A から G であげた例以外に、20年後、30年後の望ましい小山市の都市環境のあり方として、お考えがありましたら教えてください。

\*また、小山駅周辺の都市環境を持つエリアも、それを取り込む田園環境が広がるエリアも、バランスと調和がとれ、より良い関係を作りながら持続可能なまちづくりを進めていくために、小山市が大切にしていけるべきこと、具体的なお提案など、自由にお書きください。

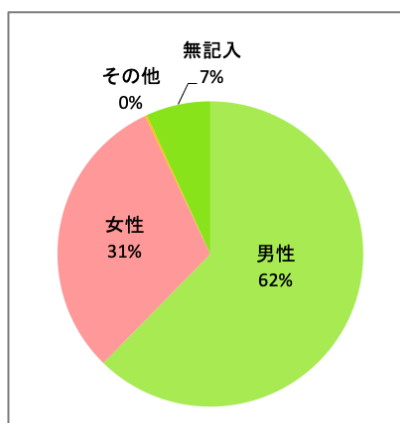
ご回答、ありがとうございました。

# 集計結果

## 1. 回答者の基本情報

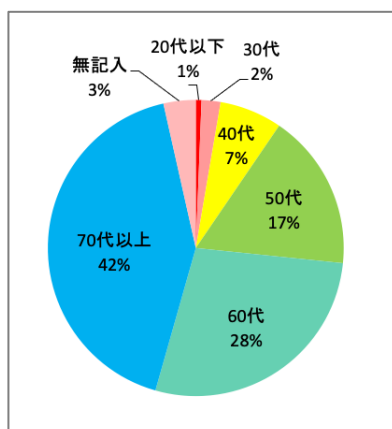
【1】以下について教えてください。

### 01 | 性別



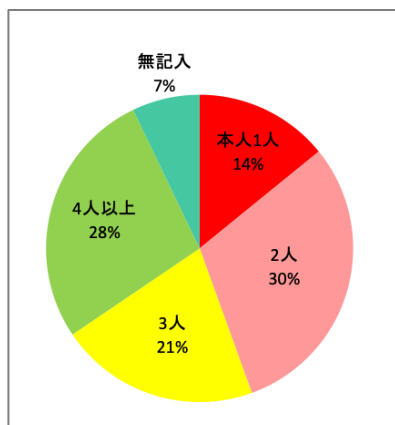
|    |     |     |       |
|----|-----|-----|-------|
| 性別 | 男性  | 62% | 604 名 |
|    | 女性  | 31% | 297 名 |
|    | その他 |     | 2 名   |
|    | 無記入 |     | 66 名  |
|    | 無効  |     | 0 名   |

### 02 | 年齢



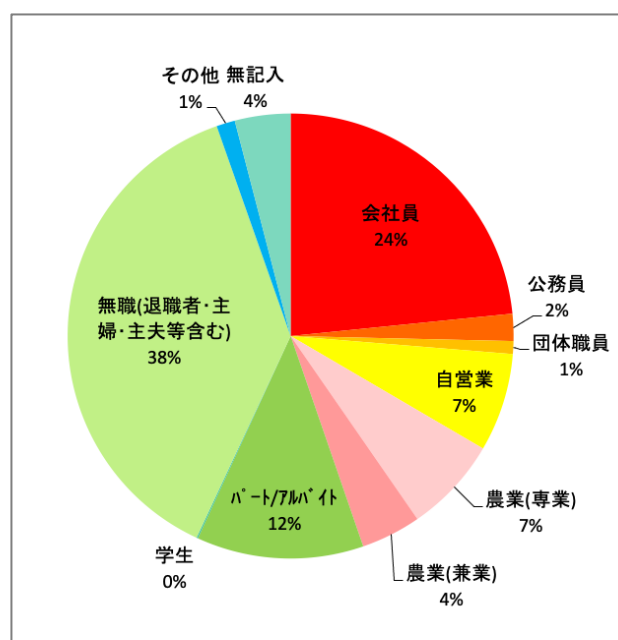
|    |        |      |       |
|----|--------|------|-------|
| 年齢 | 20 代以下 | 1 %  | 6 名   |
|    | 30 代   | 2 %  | 20 名  |
|    | 40 代   | 7 %  | 66 名  |
|    | 50 代   | 17 % | 165 名 |
|    | 60 代   | 28 % | 268 名 |
|    | 70 代以上 | 42 % | 406 名 |
|    | 無記入    |      | 34 名  |
|    | 無効     |      | 4 名   |

### 03 | 世帯の人数



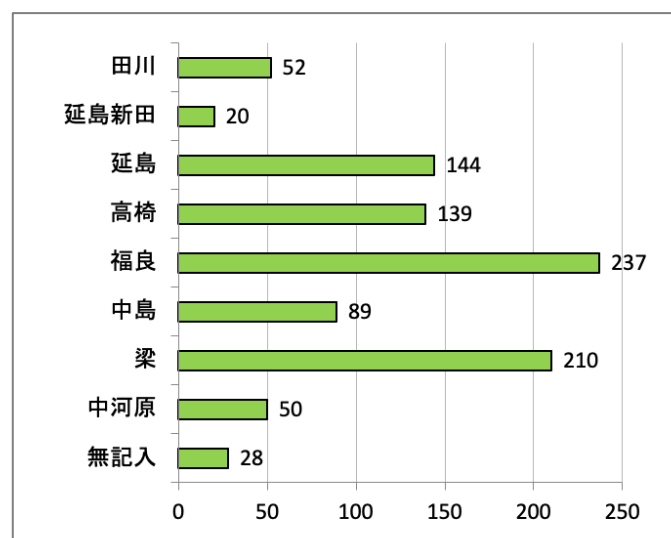
|     |        |     |       |
|-----|--------|-----|-------|
| 世帯数 | 本人 1 人 | 14% | 137 名 |
|     | 2 人    | 30% | 294 名 |
|     | 3 人    | 21% | 204 名 |
|     | 4 人以上  | 28% | 265 名 |
|     | 無記入    |     | 69 名  |
|     | 無効     |     | 0 名   |

## 04 | 職 業 \* 兼業農家は複数回答

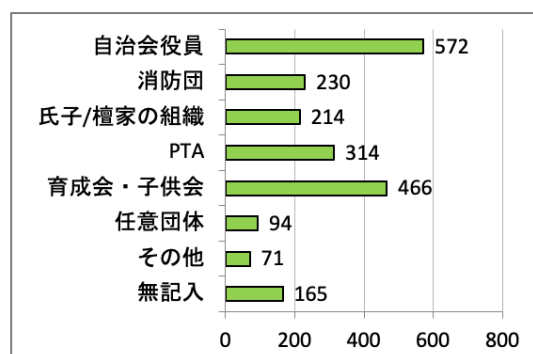


|    |           |     |       |
|----|-----------|-----|-------|
| 職業 | 会社員       | 24% | 226 名 |
|    | 公務員       | 2%  | 19 名  |
|    | 団体職員      | 1%  | 9 名   |
|    | 自営業       | 7%  | 69 名  |
|    | 農業(専)     | 7%  | 67 名  |
|    | 農業(兼)     | 4%  | 42 名  |
|    | パート/アルバイト | 12% | 117 名 |
|    | 学生        | 0%  | 1 名   |
|    | 無職        | 38% | 364 名 |
|    | その他       |     | 13 名  |
|    | 無記入       |     | 39 名  |
|    | 無効        |     | 12 名  |

## 05 | お住まいの大字



## 06 | 地域活動の経験 \* 複数選択可



### 06 | その他の回答

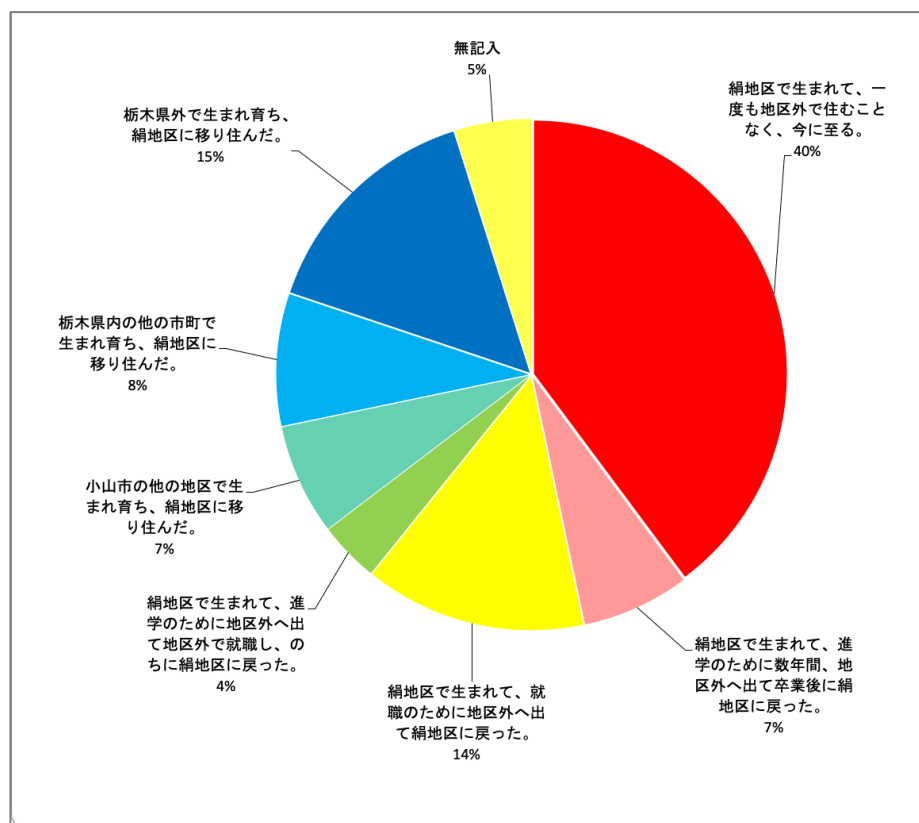
複数挙げられていたもの

◎民生委員◎体育協会◎お囃子◎太々神楽◎まちづくり協議会役員◎水道組合役員

その他

◎交通指導員◎土地改良区役員◎雅楽◎郷土芸能保存会◎防災員◎青年団◎移動図書館ボランティア◎受験組合◎農協総代◎身守り隊・・・など

## 07 | 絹地区との関わり



絹地区との関わり～回答が多い順（選択肢から選ぶ方式）

無記入 47 名、無効 7 名

絹地区で生まれて、一度も地区外で住むことなく、今に至る。383 名（40%）

絹地区で生まれて、就職のために地区外へ出て、戻った。136 名（14%）

絹地区で生まれて、進学で地区外へ。のちに戻った。66 名（7%）

絹地区生まれ 65%

絹地区で生まれて、進学、就職で地区外へ。のちに戻った 37 名（4%）

小山市の他の地区で生まれ育ち、絹地区に移り住んだ。68 名（7%）

絹地区外の県内

栃木県内の他の市町で生まれ育ち、絹地区に移り住んだ。81 名（8%）

から移住 15%

栃木県外で生まれ育ち、絹地区に移り住んだ。144 名（15%）

県外から移住 15%

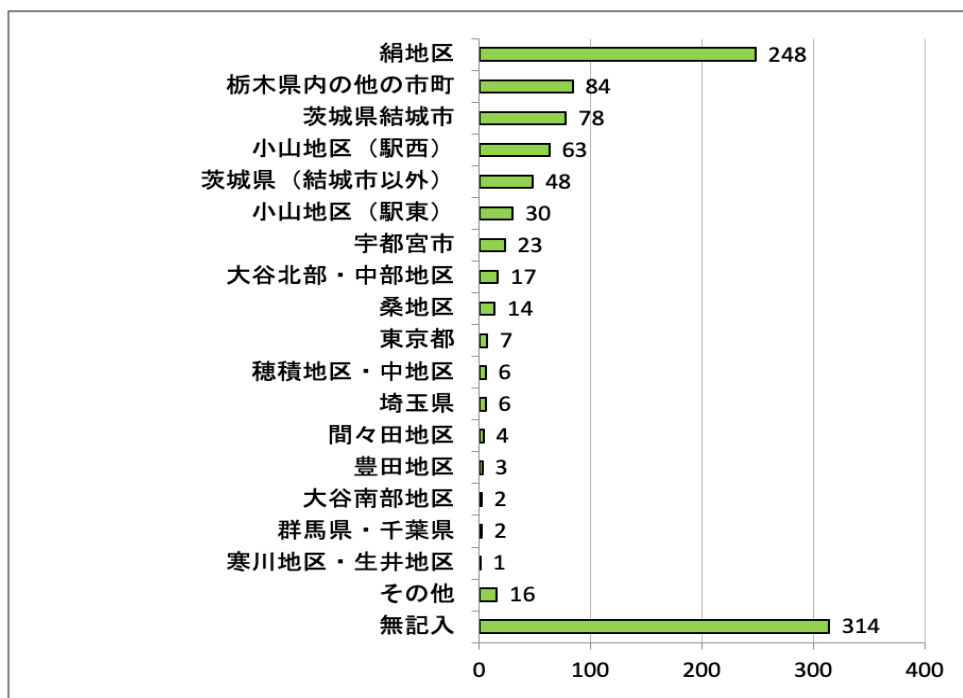
### 絹地区に移り住んだ/戻った方の理由（コメント回答 156 件）

- ①最多「実家や親との関係で：55 件」（長男だから・家業を継ぐから・親の面倒を見るため）など
  - ②次に「結婚のため：43 件」（夫の実家に入った・絹地区の人と結婚して、など）
  - ③その次「仕事関係の理由で：32 件」（就職先が自宅から通勤可能だったのでそのまま自宅に）など
- 他：「土地が安くすみやすい」「中古住宅を購入」「自然の多いところを探して良いところがあった」など

## 2. 現在の生活圏

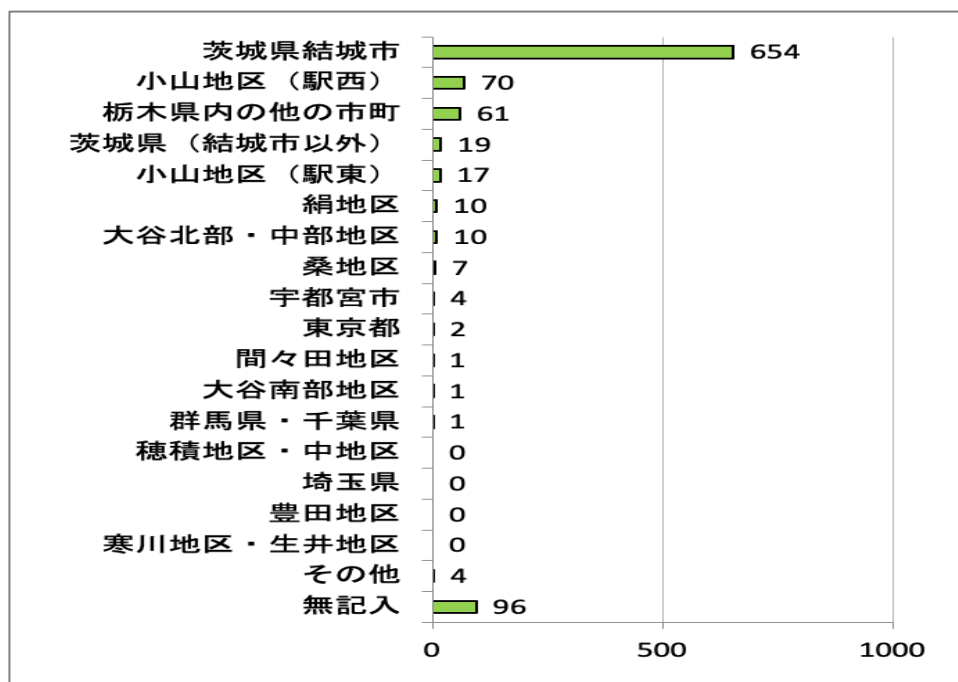
【2】あなたご自身の日々の暮らしの生活圏について教えてください。

(1) 仕事や学校へ通っている地域 \*複数ある場合は、メインの地域1つのみ。



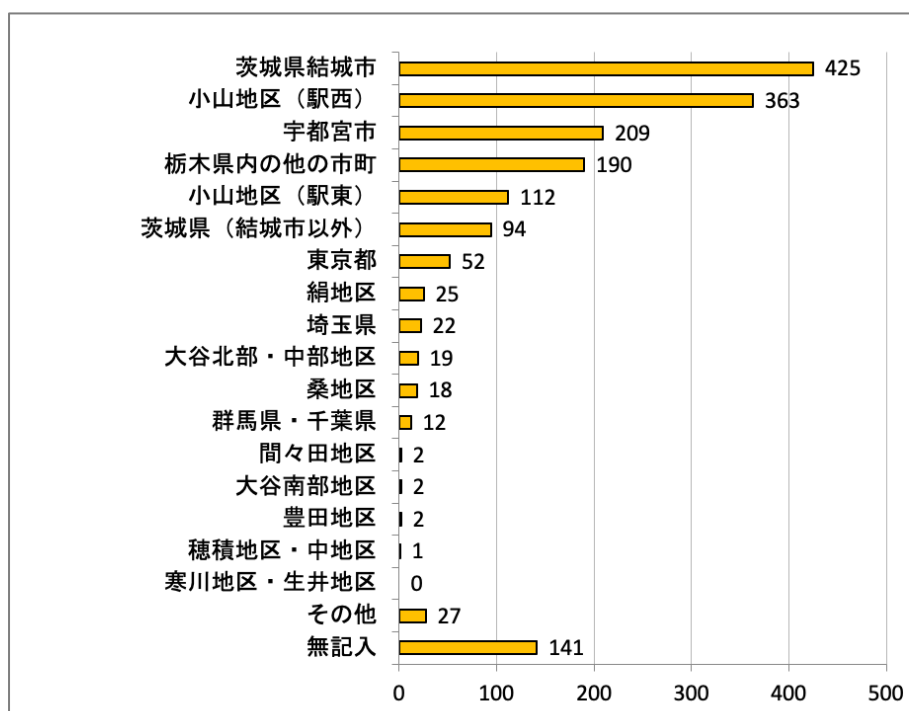
無効 3

(2) 日常的な買い物や用事で、よく出かける地域。\*複数ある場合は、メインの地域1つのみ。



無効 12

(3) 休みの日に「特別な買い物」「会食」「イベント」等でよく出かける地域



無効 1

その他コメントより上位

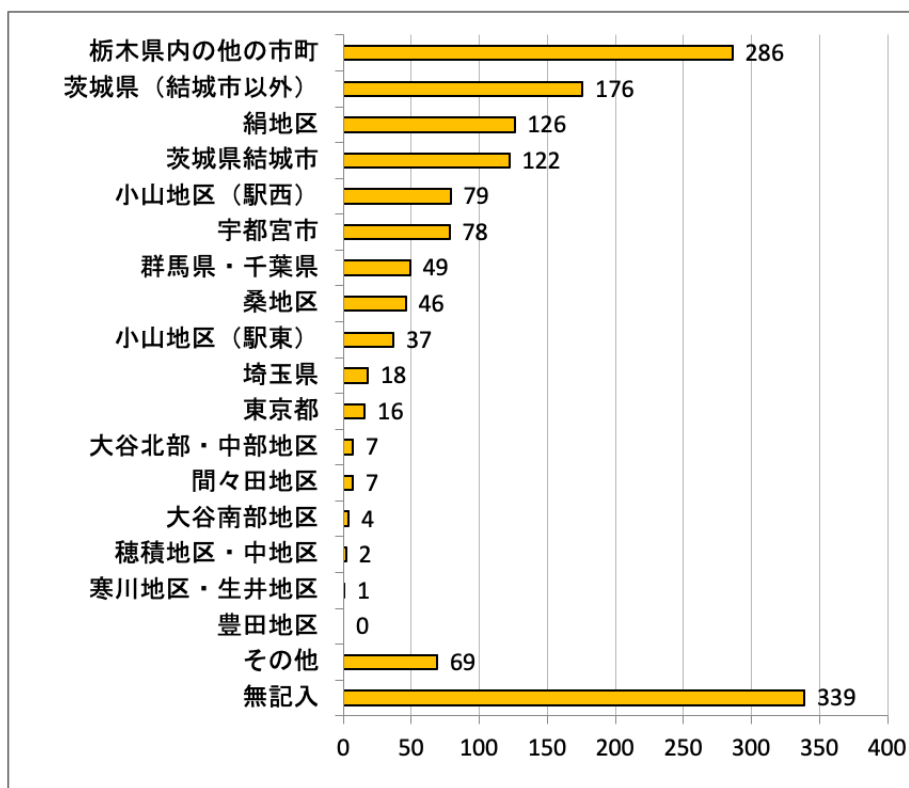
【栃木県内の市町村】

- 1 位：下野市（33 名）
- 2 位：真岡市（13 名）
- 3 位：佐野市（12 名）
- 4 位：栃木市（12 名）
- 5 位：宇都宮（10 名）
- 6 位：上三川町（9 名）
- 7 位：那須町（3 名）
- 7 位：日光市（3 名）
- 7 位：益子町（3 名）
- 7 位：壬生町（3 名）

【栃木県外の市町村】

- 1 位：下館市（2 名）
- 1 位：筑西市（2 名）
- 1 位：茨城県（2 名）

(4) 休みの日に「自然の中でリフレッシュ」「アウトドアスポーツ」等でよく出かける地域



無効 0

その他コメントより上位

【栃木県内の市町村】

- 1 位：日光市（39 名）
- 2 位：那須町（33 名）
- 3 位：下野市（28 名）
- 4 位：鹿沼市（20 名）
- 5 位：真岡市（18 名）
- 6 位：栃木市（16 名）
- 7 位：益子町（11 名）
- 8 位：佐野市（10 名）
- 9 位：茂木町（9 名）
- 10 位：那須塩原市（7 名）

【栃木県外の市町村】

- 1 位：福島県（9 名）
- 2 位：大洗町（4 名）
- 3 位：筑西市（3 名）
- 4 位：結城市（2 名）
- 4 位：つくば市（2 名）
- 4 位：伊豆市（2 名）

### 3. 地域資源への認知度・関心度 [単純集計]

ここでは各質問と選択肢の下段に集計結果（人数・％）を記載し、グラフを次ページに記載する。

#### 【3】絹地区の歴史や地域資源についての認知度や関心度について。

##### (1) 絹地区の歴史や、歴史的な寺社、祭りなどについて

A：絹地区のなりたちの歴史や、近隣に残る史跡や神社や寺の歴史、由緒、祭りなどを  
知っていますか？

B：絹地区のこのような歴史や、祭り、伝統芸能に関心がありますか？

無効 A・1名、B・0名

|     |          |           |          |         |        |
|-----|----------|-----------|----------|---------|--------|
| A   | 良く知っている  | あまあ知っている  | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入    |
| 認知度 | 60名：6%   | 395名：41%  | 407名：42% | 55名：6%  | 51名：5% |
| B   | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入    |
| 関心度 | 68名：7%   | 429名：44%  | 346名：36% | 61名：6%  | 65名：7% |

##### (2) 絹地区に残る自然環境について

A：絹地区にある公園、街路樹、平地林などについて知っていますか？

B：絹地区に残る自然環境に関心がありますか？

無効 A・2名、B・0名

|     |          |           |          |         |        |
|-----|----------|-----------|----------|---------|--------|
| A   | 良く知っている  | あまあ知っている  | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入    |
| 認知度 | 61名：6%   | 360名：37%  | 424名：44% | 66名：7%  | 56名：6% |
| B   | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入    |
| 関心度 | 100名：10% | 435名：45%  | 305名：31% | 63名：7%  | 66名：7% |

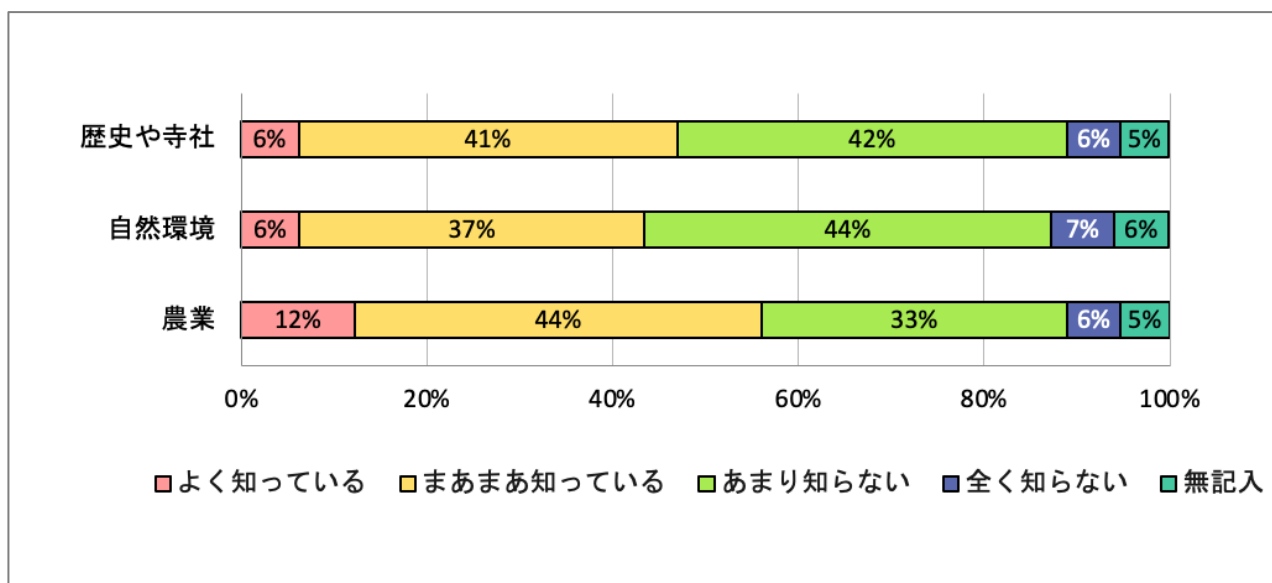
##### (3) 絹地区で行われている農業について

A：どのような地域で、どのような農業が行われているかについて知っていますか？

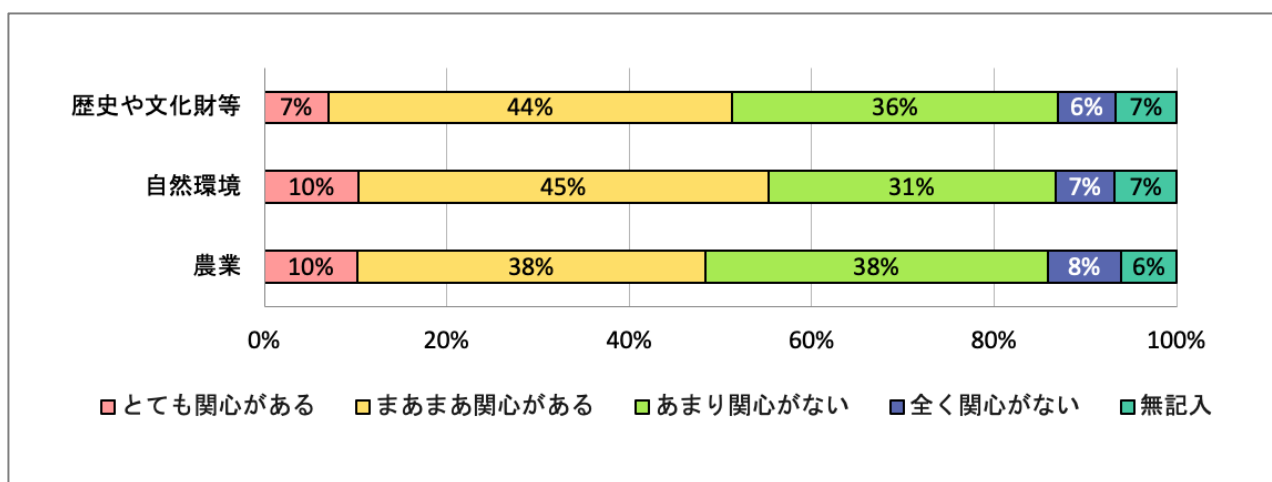
B：地区内で行われている農業に関心がありますか？

|     |          |           |          |         |        |
|-----|----------|-----------|----------|---------|--------|
| A   | 良く知っている  | あまあ知っている  | あまり知らない  | 全く知らない  | 無記入    |
| 認知度 | 119名：12% | 424名：44%  | 319名：33% | 55名：6%  | 52名：5% |
| B   | とても関心がある | まあまあ関心がある | あまり関心がない | 全く関心がない | 無記入    |
| 関心度 | 99名：10%  | 369名：38%  | 364名：38% | 78名：8%  | 59名：6% |

【3】 A：認知度



【3】 B：関心度





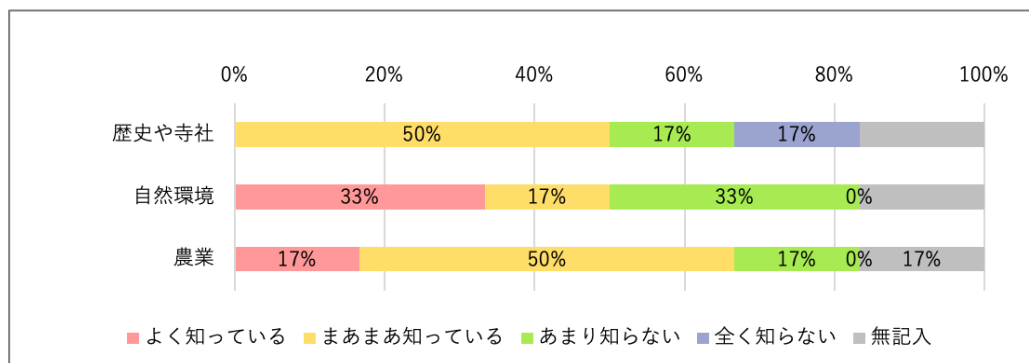
### 3. 地域資源への認知度・関心度 [年代別クロス集計]

設問【1】で年齢について無記入の方と無効の方を除き集計

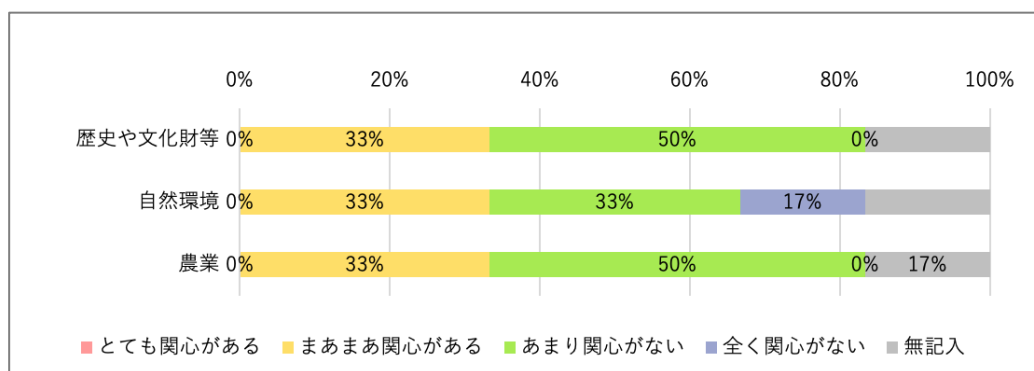
20 代

回答 6 名

A 認知度



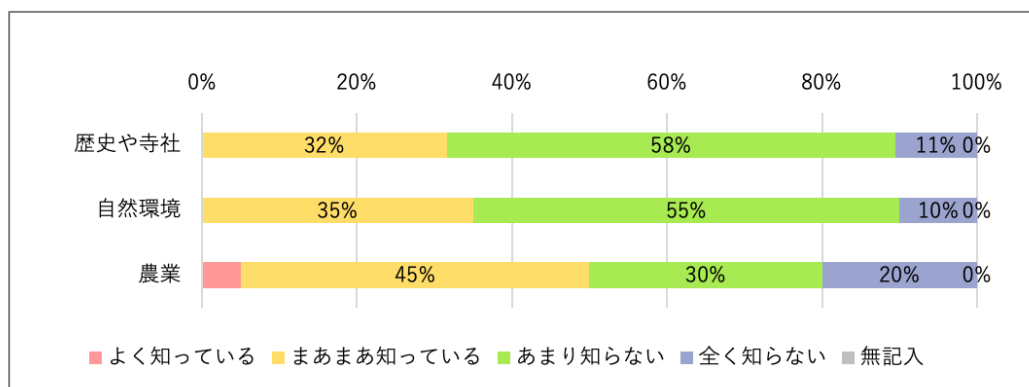
B 関心度



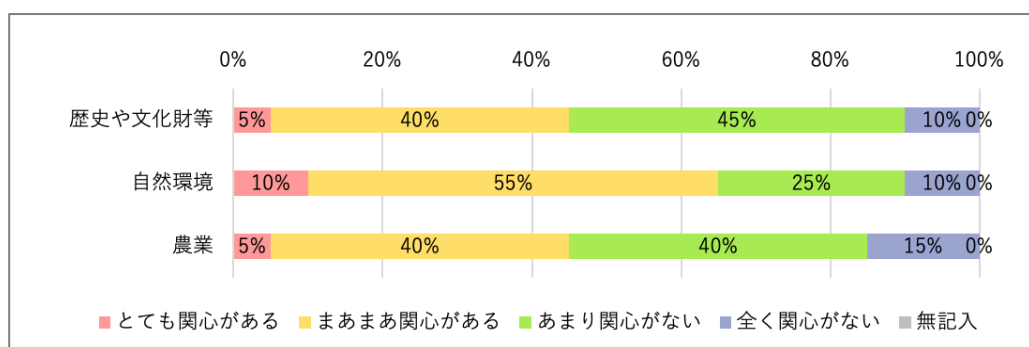
30 代

回答 20 名

A 認知度



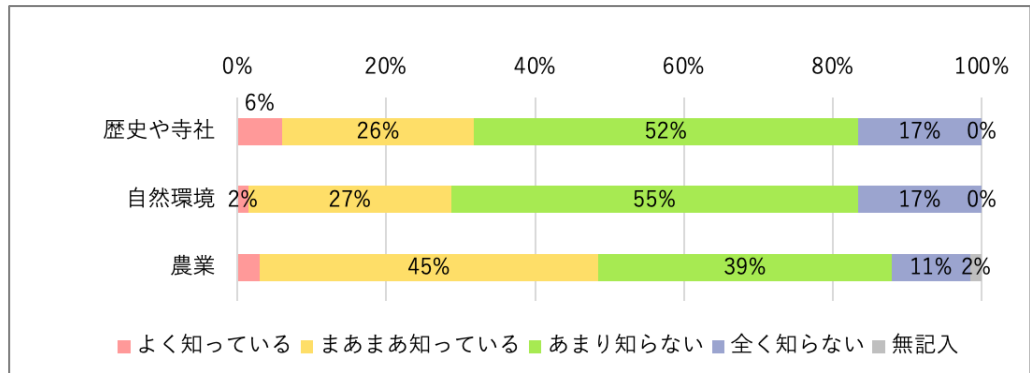
B 関心度



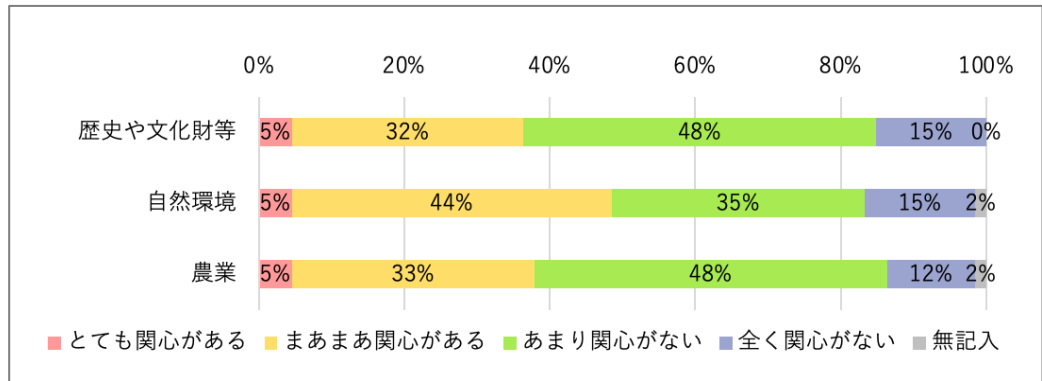
## 40代

回答 66 名

### A 認知度



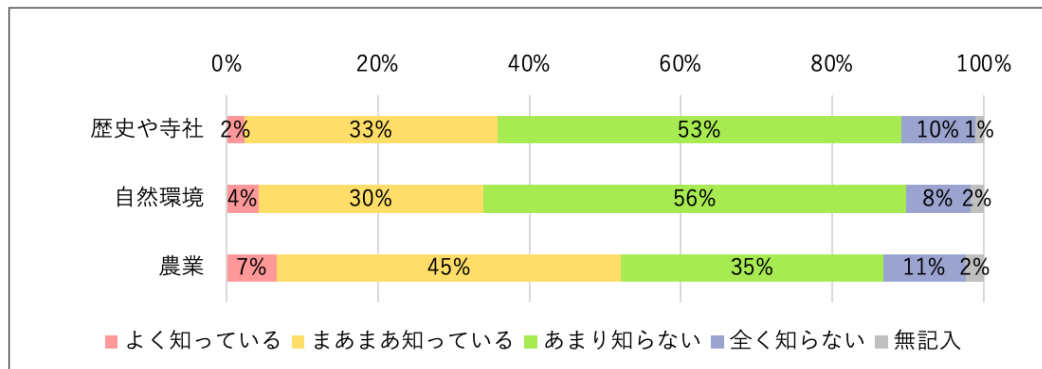
### B 関心度



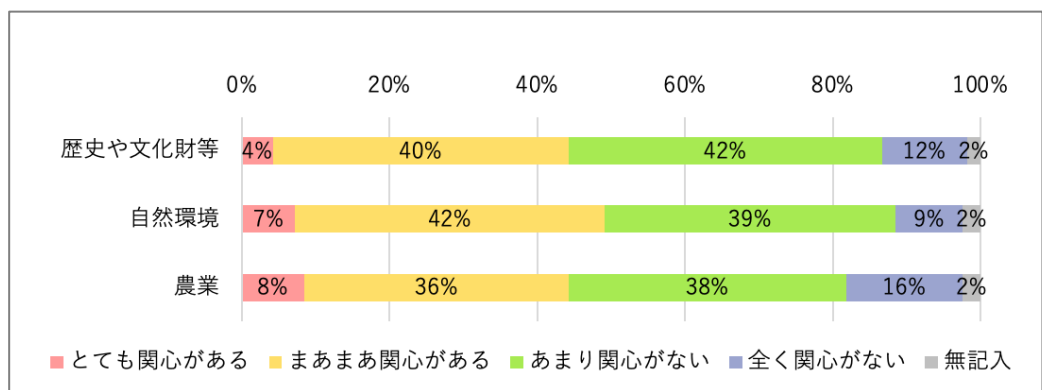
## 50代

回答 165 名

### A 認知度



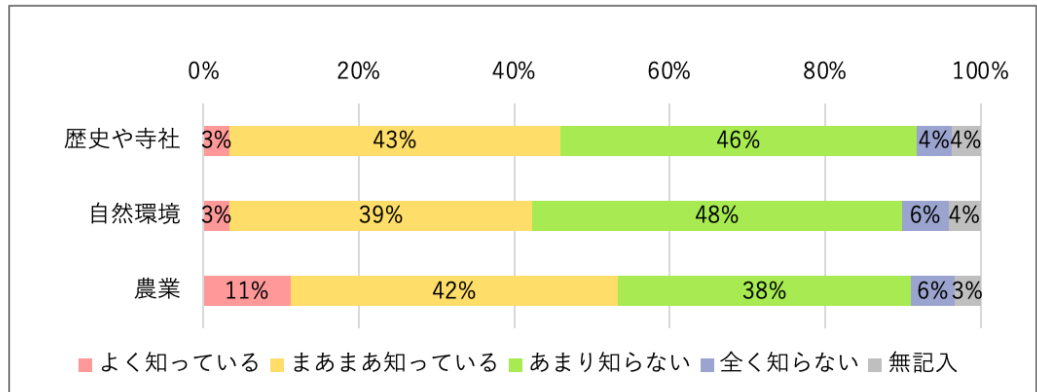
### B 関心度



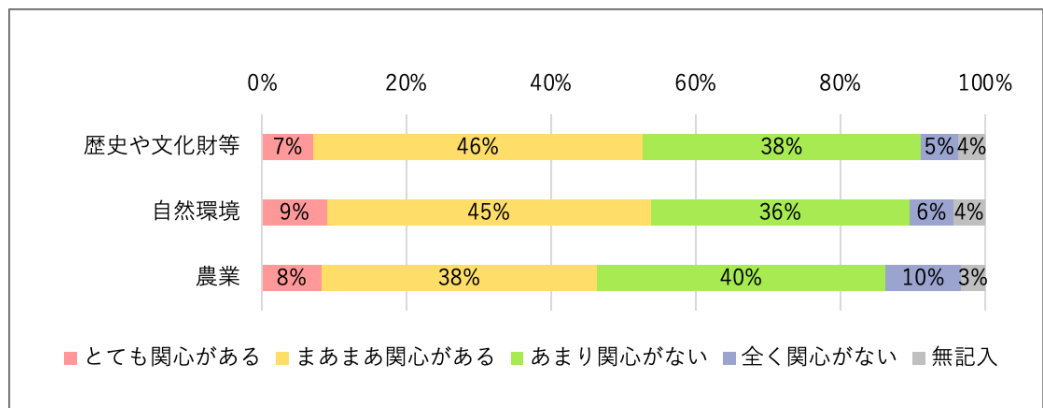
60代

回答 268 名

A 認知度



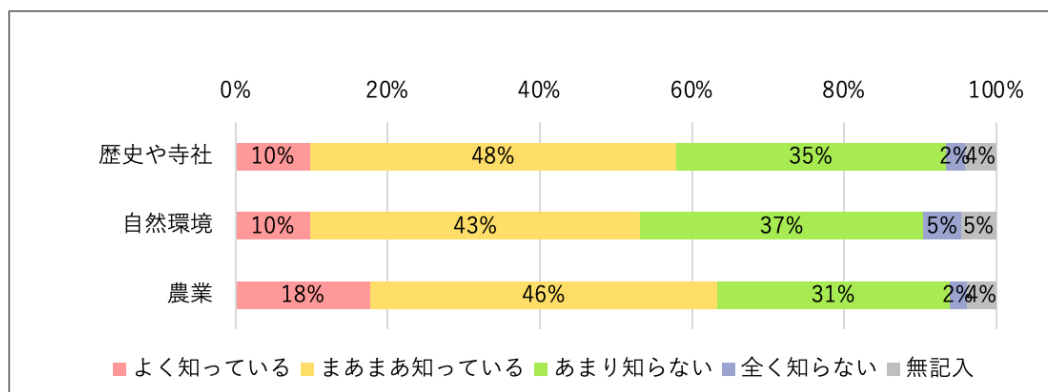
B 関心度



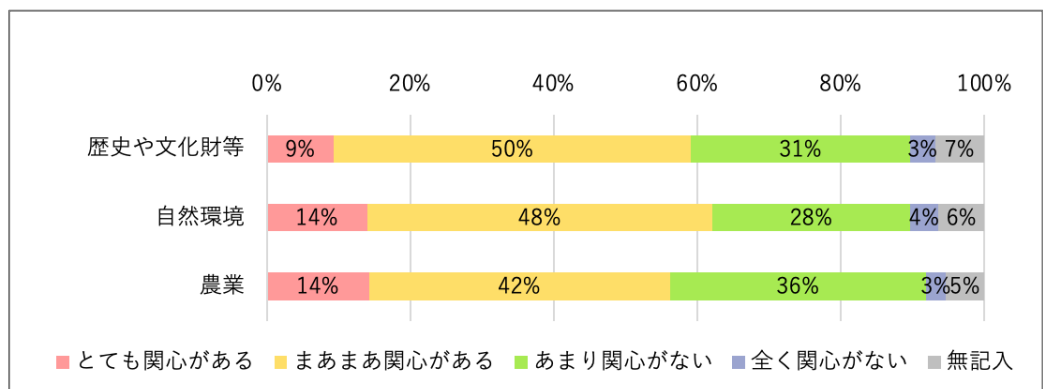
70代以上

回答 406 名

A 認知度

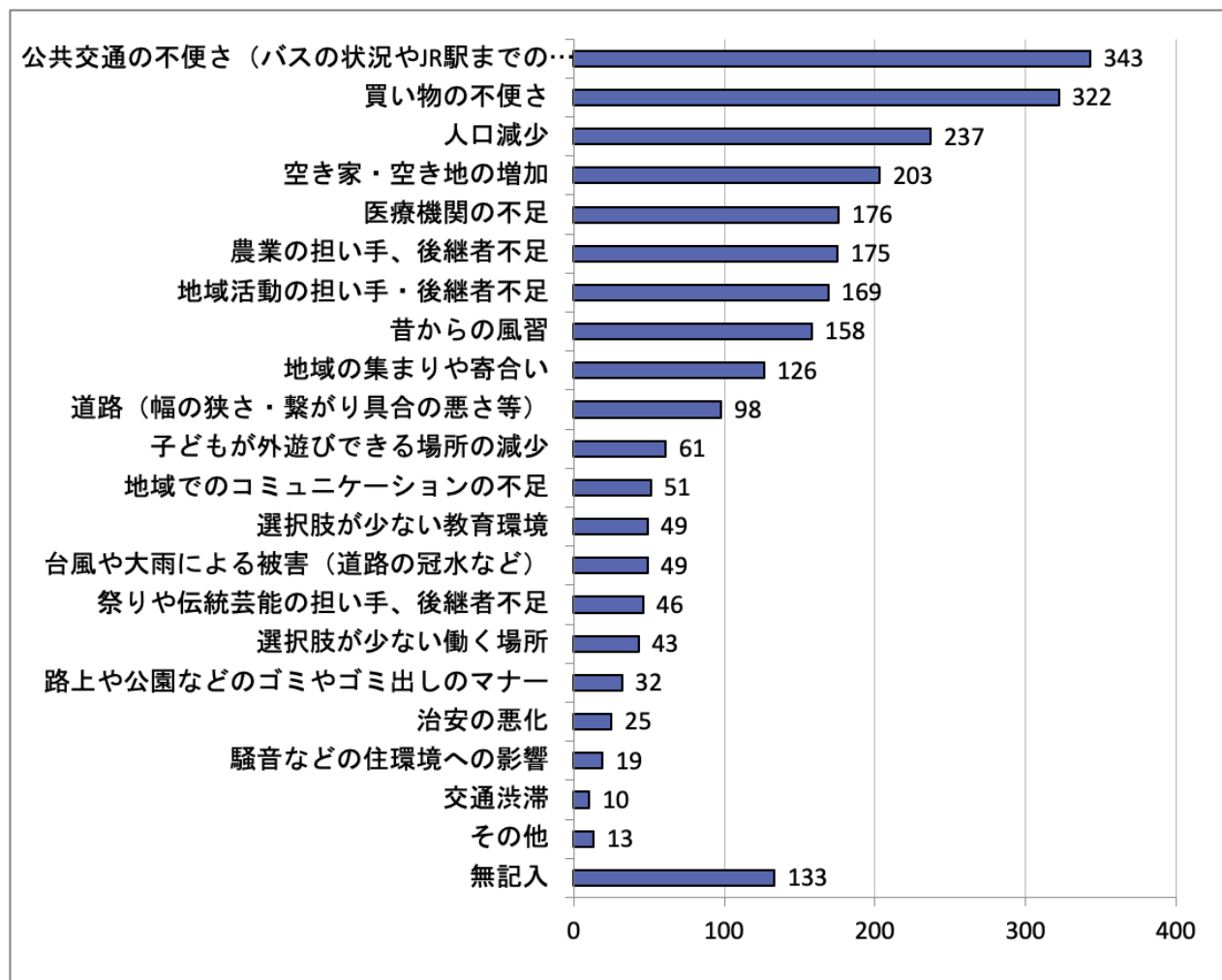


B 関心度



## 4. 地区の困りごと [単純集計]

【4】あなたが「無くしたい」「解消したい」「解決したい」と考える、絹地区の困りごとは、  
どんなことでしょうか？ ＊選択肢の中から3つ選んで回答。



### その他のコメント

◎地域に人の集う場所が少ないと感じます。コミュニティスペースとか欲しいな…

◎荒地が多い

## 4. 地区の困りごと [年代別クロス集計]

回答者が多い順/上位（項目表記は一部略） 選択肢から3つを選ぶ形式（年齢記入がないものは除外）

同数の項目は同順位

| 20代 6名     | 30代 20名        | 40代 66名    |
|------------|----------------|------------|
| 1 買い物が不便   | 1 公共交通が不便      | 1 地域の集まり   |
| 2 地域の担い手不足 | 2 外遊び場の減少      | 2 買い物の不便さ  |
| 2 農業の後継者不足 | 2 買い物の不便さ      | 2 公共交通が不便  |
| 2 祭りの担い手不足 | 3 地域の集まり       | 3 昔からの風習   |
| 2 地域の集まり   | 3 昔からの風習       | 3 医療機関の不足  |
| 2 昔からの風習   | 4 地域の担い手不足     | 4 人口減少     |
| 2 住環境への影響  | 4 限られた教育環境     | 4 外遊び場の減少  |
| 2 外遊び場の減少  | 4 道路状況の悪さ      | 5 地域の担い手不足 |
| 2 医療機関の不足  | 5 空き家・治安・道路の冠水 | 6 道路状況の悪さ  |
| 2 公共交通が不便  | など同数           |            |
|            |                |            |
| 50代 165名   | 60代 268名       | 70代以上 406名 |
| 1 公共交通が不便  | 1 公共交通が不便      | 1 公共交通が不便  |
| 2 買い物の不便さ  | 2 買い物の不便さ      | 2 買い物の不便さ  |
| 3 人口減少     | 3 人口減少         | 3 人口減少     |
| 4 昔からの風習   | 4 空き家・空き地      | 4 空き家・空き地  |
| 5 地域の集まり   | 5 農業の後継者不足     | 5 農業の後継者不足 |
| 5 空き家・空き地  | 6 地域の担い手不足     | 6 地域の担い手不足 |
| 6 医療機関の不足  | 6 昔からの風習       | 7 医療機関の不足  |
| 7 地域の担い手不足 | 7 医療機関の不足      | 8 昔からの風習   |
| 7 農業の後継者不足 | 8 地域の集まり       | 9 地域のコミュ不足 |
| 8 道路状況の悪さ  | 9 道路状況の悪さ      | 9 道路状況の悪さ  |

## 4. 地区の困りごと【自由記述】

選んだ項目についての理由や意見として求めたコメントを、原文のまま（明らかな書き間違いのみ修正）で、ジャンルごとに整理した。

### 1 | 地域活動やコミュニティについて

選択肢①地域活動の担い手・後継者不足、③祭りや伝統芸能の担い手・後継者不足、④地域の集まりや寄合い、⑤昔からの風習、⑥地域でのコミュニケーション不足・・・などについて

◎数年後には自治会が成り立たない。若い人が戻ってこない ◎高齢者世代が元気で活発なことは良いが、コミュニケーションの場に成人した子供世代を出さない風潮が有り、壮年から下の世代のリーダー育成が出来ていないと感じる。ゆえに、壮年から下の子供世代の転出が多く、人口減少につながっていると思う。もう少し、世代別でのイベントが有っても良いと思う ◎水道料金、自治会費、祭費、お札費等の個別集金の回数が多く、土・日にするため、休養の時間が減少してしまう。（また、自治会費18000円／年の負担は重すぎると思っています） ◎地域に関心がうすれる中高齢化も進み、自治会として苦勞が多くなっている為、役員を選抜するのがとても大変 ◎班が多く、年寄りしかいないので若手の仕事が増える。なので班を少なくしてほしい ◎集まりが多いと若い人達はこなくなってしまう ◎時代にあった地域の在り方 ◎地域の消防団、交通安全協会等その他地域活動の担い手不足 ◎限界集落に近い状況であるのに、地域活動や行事が旧態依然である。これでは若い方々は疲れてしまうし、活性化には程遠いと感じる

### 2 | 農業の継続について

選択肢②農業の担い手・後継者不足について

◎農地などの荒廃 ◎親がいなくなり、自分は、農業ができないので、土地をどうしたらいいか？ ◎特に農業に関する様々な問題は、人口の割合に対して地域活動の様々な役が多く、1人で3～4つ役を兼ねることもある

### 3 | 住環境について

選択肢⑦騒音などの住環境への影響について、その他

◎梁工業団地からの風向きによってくる悪臭に頭痛が起きる ◎絹地区に住みたい人がいても、水道の老朽化や雑排水施設への汚水を流せないため住めない

### 4 | 人口減少や、空き家・空き地の問題

選択肢⑧空き家・空き地の増加、⑩人口減少について

◎人口減、他地区への仕事の為、世継ぎ世代が流出している ◎今後10年～20年後には人口減少が進み、空き家が多数増えていく事が予想される ◎過疎化地域の対策 ◎人がいないと何も始まらない！ ◎人口減少がすべてにかかわっていると思います。特に絹地区の環境は、いいのに若者が少ない ◎若い人が住みたいポイントがない。小山市のチベット ◎若い人が残らない！

## 5 | まちの治安

選択肢⑨治安の悪化について

◎街路灯の少なく暗いのと、防犯カメラ等、犯罪の増加への不安が心配です

## 6 | ゴミの問題

選択肢⑩路上や公園などのゴミやゴミ出しのマナーについて

◎空き地に産廃などが捨てられ、草刈りもせずに放置されている所が多い ◎家庭ごみの区分がむずかしい。いまだに当番制を強要している。筑西市は生ごみ、プラゴミ一緒です。生活しやすいと思います。ごみ処理が楽です

## 7 | 保育・教育環境

選択肢⑪選択肢が少ない教育環境について

◎子供が小学生の頃は良いが、高校へ行くには送迎が必要。仕事をしながらの送迎は厳しいので辞める事も考えている ◎今後子供を育てていくのに不安がある ◎小規模の学校なので、上手くやれる子は上手にやれる。その他はイジメや親の嫌がらせがある。習い事は選べない。通うのに不便。近くてやりたい習い事は地区の親同士の繋がりが強く、通わせたくない。トラブルが多すぎる

## 8 | 外遊びできる環境

選択肢⑫子どもが外遊びできる場所の減少について そのほか、犬の散歩や大人の居場所など

◎公園が少なく、子どもたちが体を動かしてのびのびと過ごせる環境が欲しい！公園があったとしても小さすぎる！ ◎孫が危険なく遊べる公園が1つもない。延島地区だけなぜ公園がないのか。近くの下野市仁良川に行くと1km内にいくつもあってうらやましくなる。防災の面でも災害が起きた時、延島だけ非難する場所が地区内にない。税金をもっと延島に使ってほしい ◎子どもが集まって安全に遊べる場所がほしいです。歩きや自転車で行くことができる距離に公園がありません。遊具がなくても、ボールなどで遊べるスペースがあれば嬉しいです

以下9～11の分野に関するコメントは、14の複合的なコメントに記載がある

9 | 就労の環境 選択肢⑬選択肢が少ない働く場所について

10 | 買い物 選択肢⑭買い物の不便さについて

11 | 医療サービス 選択肢⑮医療機関の不足

12 | 交通渋滞や、大雨時の冠水など道路の環境

選択肢 ⑯交通渋滞、⑰道路（幅の狭さ・繋がり具合の悪さ等）、⑱台風や大雨による被害（道路の冠水など）

◎まさかの水害の対策をお願いします ◎路面がアンジュレーション ◎ハザードマップで見ると冠水5mでは何も投資できない

13 | 公共交通/路線バス・おーバス

選択肢⑱公共交通の不便さについて

◎車を運転出来なくなった後の生活を考えるととても不便 ◎免許を返納してしまうと、生活ができない ◎延島の一部で大型車の通行ができない ◎車の運転ができなくなった時の生活が不安 ◎将来、車が運転できなくなった時、交通手段がない

14 | その他・複合的なコメントなど

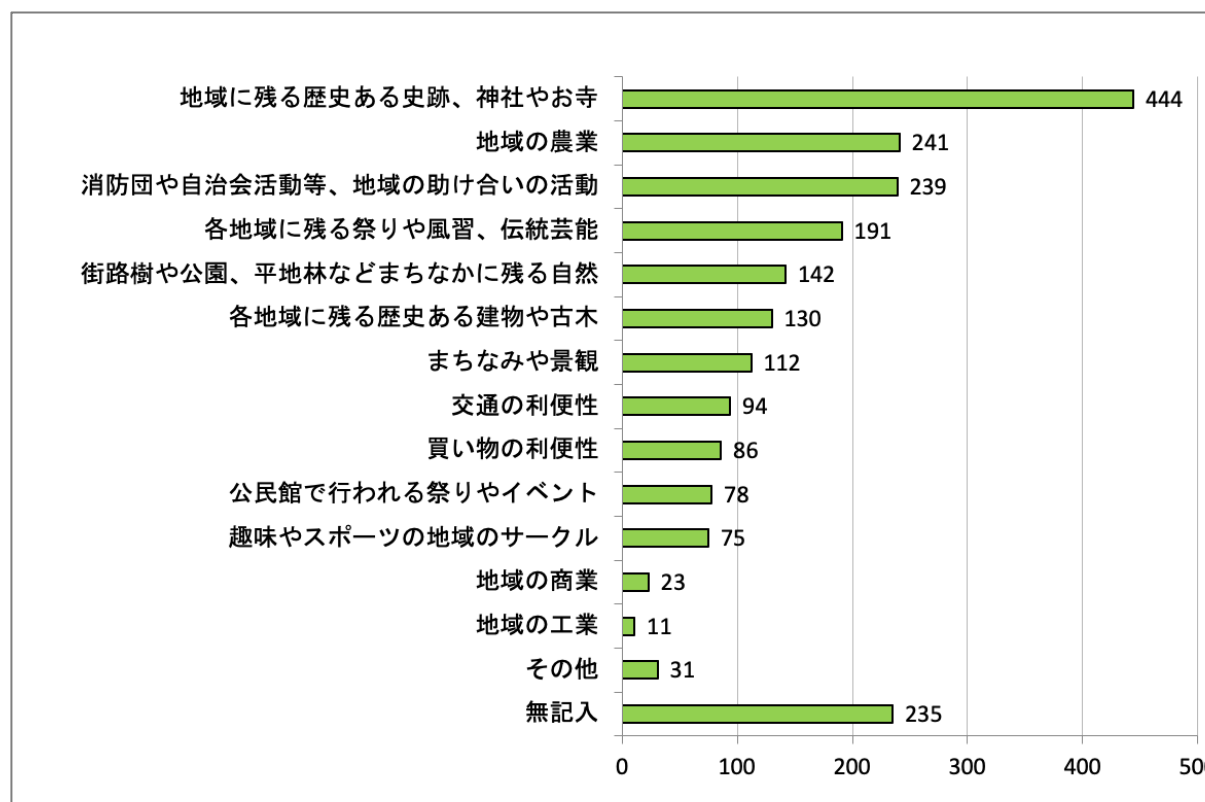
◎地区ごとに適している物などを判断し、土地を有効利用する ◎自治会の役員が多すぎて、毎年何かしらの役員になっている状況です。現状を踏まえ、減らせる役員は減らしても良いと思います。子どもの遊び場に関しては、旧延島小学校の校庭を子どもが遊べる公園のように整備して開放してもらえると良いなと思います。子どもたちが遊ぶといえお互いの家くらいなので、徒歩や自転車で行ける距離に遊び場所があるのはとても良いと思います。公共交通機関に関しては、将来自分から車の運転が出来なくなった時に、このままだと買い物も病院にも行かなくなってしまうのが心配です。デマンドバスもありますが、今よりさらに気軽に簡単に利用できる仕組みの公共交通機関があると安心できると思います ◎農業の後継者が無く、耕作放棄地が増え、景観も悪化していくのではないかと。高齢化、独身者の増加で、近い将来に空き家になりそうな家も多い。交通の便が無いので、子どもが高校進学すると、親の送迎が必要になるため、フルタイムで働くこともできない。進学以前に、塾の送迎などもある。地域の小学校も廃校になり、子育て世代も地域に居住しなくなっている。住民は減少しているが、地域の自治会などの役割の負担が都市部に比べて圧倒的に多く、地域に残るのを敬遠する理由の一つになっていると思う。全てが悪循環で、環境の悪化と人口減少はますます進みそう。自身の老後考えたとき、ここに残る選択をとるかどうか分からない ◎幾ら自然環境が良くとも、市街地との交通の利便性がなくては意味がない。これまでの小山市は、大局的見地に立った行政行為パッケージが全く作れずに中途半端な事業が多かった。後述する。また、地域外での勤め人にとって負担となる地域活動も多い ◎車がなければ生活できな



い。学校は統合、農業を継承する若者もいない。そもそも田園環境都市の定義とは？このままでは田園があるだけの都市になってしまう ◎地域活動はほとんど若い人でやるしかない。そのため子供との時間が持てなくなる。中島橋に行く丁路の混み方が朝、ひどい。絹地区に病院がない ◎潰れそうな空き家を壊してほしい。デマンドタクシーの行き先を自由にしてほしい ◎経済が成り立たない所に策なし ◎市街化調整区域の解除 ◎絞り込みに苦労しました。問題が多いかと。無医村、交通手段の不足、高齢になっても免許返納はできません。自治会への若い人の参加がなく、自治会を抜けることがあり、最後は消滅するのかと不安です ◎実際に、水路を隔てた隣の草がすごいです ◎正直言って困りごとだらけです。数の制限がなければ①、②、④、⑧、⑬も含めたいです ◎⑩も同様 ◎その他⑪、⑭、⑮ ◎困りごとがない ◎車を運転できない人の移動（通院・買い物など）手段を考えてほしい。切実な問題です。人口減少は避けられないと思うが、地域を維持するには最低の人口、地域コミュニティの確保が必要 ◎車上荒らしや空き巣、不法侵入、泥棒等、最近自治会内で起こる等、怖い話を聞くことが多くなった。買い物は車がないと不便 ◎近所のコンビニがなくなってしまい、子供達が安全に買い物に行ける場所がなくなった。（農業者4～6%）農業専用地で土地の移動に縛りがあり発展できない。人口減少、空き家の増加、小山市の東のはずれで公共施設なく不平等（絹地区） ◎①自治会長、男子対象は年齢順で若年を対象になってしまう。②隣近所に目立つ空地・空家。⑬狭く、また自転車通行が危険 ◎地域住民が集い、運動や文化活動が楽しめる充実した施設がほしい。公民館は古すぎるし、狭い。働く場としての会社がほしい

## 5. 地区で大切に守りたいもの【単純集計】

【5】あなたが「大切に守っていききたい」と考える、絹地区の「小さな自慢」はどんなことでしょうか？ ＊選択肢から3つ選んで回答。



### その他コメント

◎結城紬（7名）

◎自然豊かでのんびりした空間、それでいながら少し足を延ばせば利便性を受けられる環境

◎自然災害の少ないところ

◎地域の人々のつながりの強さ。自然の豊かさ

◎自治会活動のみ

◎地域で学校活動を支援

◎すてきな子供たち

◎子供達の素直さ

◎直売所のイベント（絹ふれあいの郷）、農産物の食味

◎特になし（3名）

## 5. 地区で大切に守りたいもの [年代別クロス集計]

回答者が多い順/上位（2名以上の回答があるもの・項目表記は一部略）・選択肢から3つを選ぶ形式

同数の項目は同順位

| 20代 6名     | 30代 20名    | 40代 66名    |
|------------|------------|------------|
| 1 史跡、神社やお寺 | 1 史跡、神社やお寺 | 1 史跡、神社やお寺 |
| 1 歴史ある建物や木 | 2 祭りや伝統芸能  | 2 まちなみや景観  |
| 1 地域の農業    | 2 まちなみや景観  | 3 残っている自然  |
| 1 地域の商業    | 2 地域の農業    | 4 地域の農業    |
| 2 助け合いの活動  | 2 残っている自然  | 5 歴史ある建物や木 |
| 2 残っている自然  | 3 歴史ある建物や木 | 6 祭りや、伝統芸能 |
| 2 地域の工業    | 4 助け合いの活動  | 7 交通の利便性   |
|            | 5 地域の商業    | 8 買い物の利便性  |
|            |            | 9 公民館イベント  |
|            |            | 10 地域のサークル |
| 50代 165名   | 60代 268名   | 70代以上 406名 |
| 1 史跡、神社やお寺 | 1 史跡、神社やお寺 | 1 史跡、神社やお寺 |
| 2 残っている自然  | 2 地域の農業    | 2 助け合いの活動  |
| 3 地域の農業    | 3 助け合いの活動  | 3 地域の農業    |
| 4 歴史ある建物や木 | 4 祭りや伝統芸能  | 4 祭りや伝統芸能  |
| 5 まちなみや景観  | 5 残っている自然  | 5 交通の利便性   |
| 6 祭りや伝統芸能  | 6 歴史ある建物や木 | 5 買い物の利便性  |
| 7 助け合い活動   | 7 まちなみや景観  | 6 地域のサークル  |
| 8 買い物の利便性  | 8 公民館イベント  | 7 歴史ある建物や木 |
| 9 交通の利便性   | 8 交通の利便性   | 8 残っている自然  |
| 10 地域のサークル | 9 買い物の利便性  | 9 まちなみや景観  |
|            |            | 10 公民館イベント |

## 5. 地区で大切に守りたいもの【自由記述】

選んだ項目についての理由や意見として求めたコメントを、原文のまま（明らかな書き間違いのみ修正）で、ジャンルごとに整理した。

### 1 | 歴史的な地域資源の保全や継承

選択肢①地域に残る歴史ある城跡、神社やお寺について ②各地域に残る祭りや風習、伝統芸能について ③各地域に残る歴史ある建物や古木について

◎郷土に何か適していることを行う ◎結城紬関係で絹地区をもう少しアピールしても良いと思います  
◎結城紬が盛んだったこと ◎「2」の項目を選択したかったが、人材不足等でほとんど伝承されていないのが現状 ◎高椅神社の歴史及び神楽 ◎昔からの伝統を守りつつ、新たな取り組みも必要ではないかと思います。新しいことも受け入れつつ、伝統を守る地域の取り組みが必要不可欠だと思う ◎高椅神社は地域の宝である。どのような形になっても引き継いでいくべきと思う ◎結城紬の保存はなんとかしても必要 ◎寺野東遺跡が小さな自慢

### 2 | 地域のコミュニティ

選択肢④消防団や自治会活動等、地域の助け合いの活動について ⑤公民館で行われる祭りやイベントについて ⑥趣味やスポーツの地域のサークル活動について

◎消防団や体協、自治会の役割などの事実上の強制は、むしろ負担に感じる ◎年輩の方の優しさ ◎過去に絹地区を守り、育てきた諸先輩方のご苦勞を思うと大事にしたいと思います ◎人柄の良さが保たれるといい ◎義務教育学校とのつながり。後援会費を自治会で助成している（一戸あたり2000円） ◎祭りや各種活動及び利便性等で自慢できるものは現状見当たらない ◎自治会内での見守りが充実している→家族・老人の見守り、子どもの登下校の見守り等に協力的

### 3 | 生活の利便性

⑦交通の利便性について⑧買い物の利便性について

◎車があれば不便ではないが、バス等の利用が不便。渋滞と信号がない ◎⑦自家用車有りき  
◎⑧車の運転できるので！！

### 4 | 自然環境

選択肢⑨街路樹や公園、平地林などまちなかに残る自然について

◎自然

## 5 | 景観

選択肢⑩まちなみや景観について

◎自慢できるのは田園風景くらい

## 6 | 地域の産業

選択肢 ⑪地域の農業 ⑪地域の商業⑫地域の工業について

◎農業の後継者 ◎農業や商業が減っていってしまうと人口や利便性がどんどん減っていってしまうと思うから ◎地域の農業として、苺、ネギ、大和芋の生産者を増やす ◎農業の六次産業化を目指し、付加価値を高める事が有効かと思う。市街化調整区域による制限内でも開発許可を得ることができるような援助も必要。工業団地（梁）の再開発に伴う企業流入に対応できる商業施設の増加（コンビニなど）

## 7 | 総合的コメントやその他のこと

◎絹地区には紬織物というとても素晴らしい文化があるので、それは今後に残って欲しい文化だと思います。また、絹地区の農家の方もいちごや麦などの生産に力を入れていると思うので、それらの知名度がもっと高くなると嬉しいです ◎小さな自慢に該当するものが無い ◎選んだものは本当に守りたいものだが、選択肢の中には地域外への通勤者にとってみれば寧ろ負担になるのでやめてもらいたいものも多い ◎守るという意識の低下 ◎守るためには、その価値の意識及び財源が必須です。小山市中心部と比較すると、市政の目が向けられていないことに日々残念に思っています ◎学校給食の納豆は須藤さんの大豆が使われていることけっこう自慢です！子どもたちはちゃんと理解してくれているかなー？・つくば山がキレイに見える・夕焼け、星空がキレイ ◎人口を増やすソフトハード、法、条例の整備と改正 ◎子供が育てられる環境にないので、どんどん人口が減っていく。田んぼは作れなくなって、もっと市街化調整区域をとっばらって、人口がある程度増えなければ、市になにもやってもらえない。市の施設はなにひとつない ◎のんびりできる ◎50年前と変わらず遅れている。改革改善がなく進歩発展がない。農業地域で若者は住みにくい絹地区です。長男夫婦は3年住んで、今は駅前のマンションです ◎特になし、不便です ◎①以外は特にありません。残念ながら。【5】にある選択肢は絹地区についてのもとは思えませんが・・・ ◎長男さんが嫁さんがいない人が多い ◎守っていけるように、行政の支援等々人口減少に対応できる諸々の公正・平等な改善が急務

◎特になし（9名）

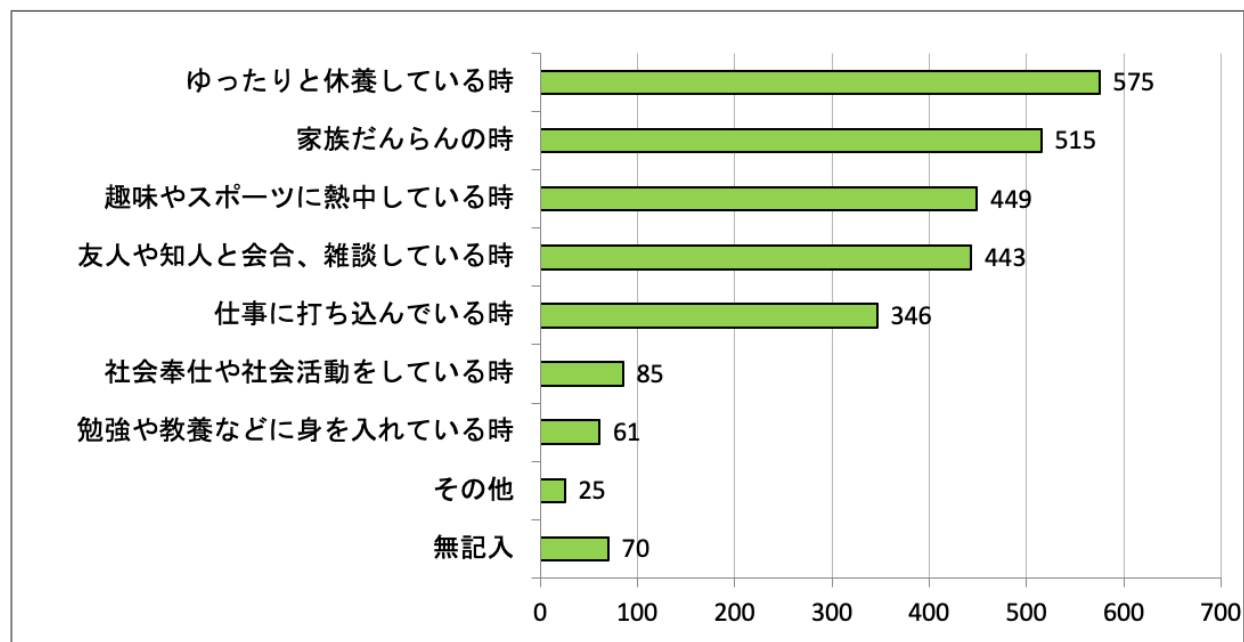
◎何も無い（1名）

◎わからない（2名0

## 6. 暮らしの価値観 [単純集計]

【6】あなたご自身の日頃の暮らしの中での考えを教えてください。

(1) 日頃の暮らしの中で「充足感を感じる」のは、どんな時ですか？ \* 選択肢から3つ選んで回答。



その他コメント

◎程々

◎畑仕事(家庭菜園 50 坪)

◎親の介護で生活にゆとりがありません。

◎時間がないので充実感を感じない。

◎食べ歩き

◎趣味 (絵)

◎病気せずに生活出来てる時

◎趣味仲間との会話

◎東京等の市街地に行く時

◎兄弟が多く家庭を持っていない

◎家庭菜園

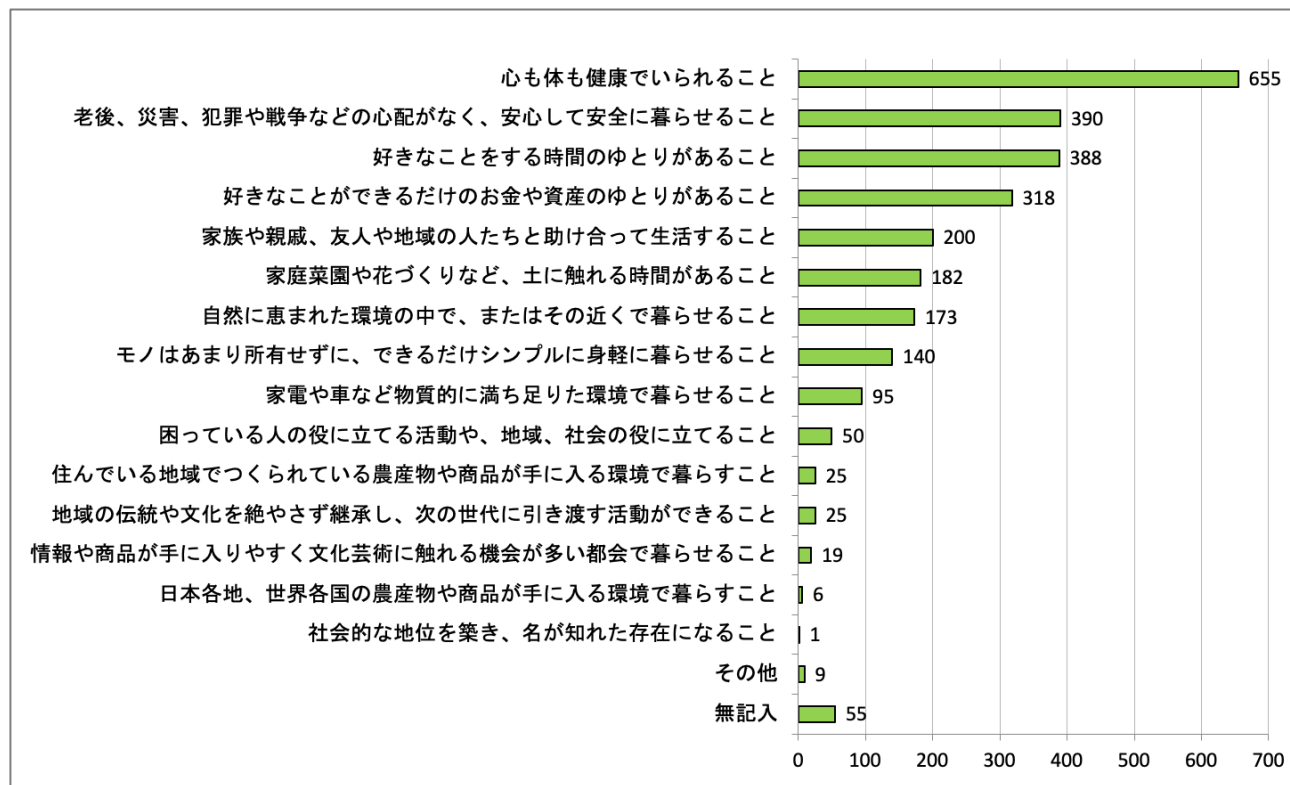
◎余裕のある時

◎家庭菜園

◎畑仕事している。犬猫の世話をしている時

(2) あなたにとって「豊かさを感じる幸福な暮らし」は、どのようなことでしょうか？

豊かさや幸福の実現に「最も大切だと思うもの」は？ ＊選択肢から3つ選んで回答。



その他

◎おなかいっぱい食べられる生活ができること

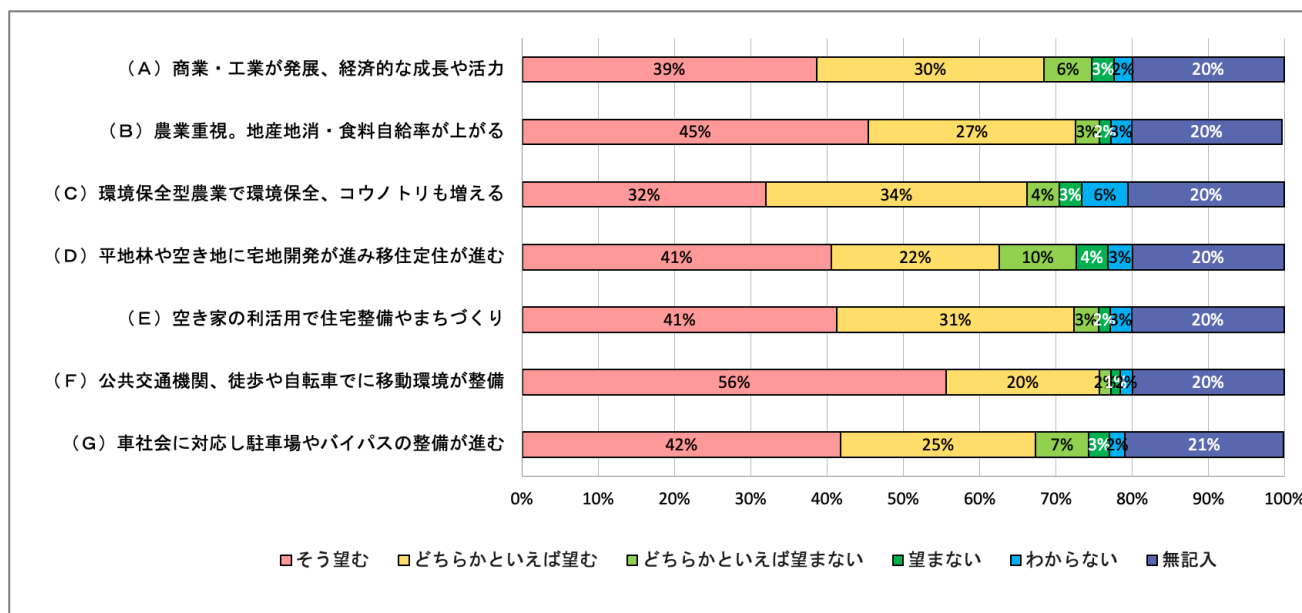
## 7. 望ましい小山市の都市環境のあり方〔単純集計〕

【7】 最後に、小山市のこれからのまちづくりについて、お考えやご意見をお聞かせください。

(1) 20年後、30年後の望ましい小山市の都市環境のあり方について、ご意見をお尋ねします。

A から G それぞれについて、選択肢の中からお考えに合うものを選び、番号を〔回答欄〕にご記入ください。また、そう考える理由や、実現のためのご意見などありましたら、(2) の自由記述欄にお書きください。

選択肢 ①そう望む ②どちらかといえば望む ③どちらかといえば望まない ④望まない ⑤わからない



支持・共感者が多い順（「そう望む」「どちらかといえば望む」の割合の合計が高い順）

\* 選択肢の文末「・・・小山市」は省略 \* ( ) 内の数字は「そう望む」の回答者の%

- 1 76% (56%) (F)公共交通機関の整備や、徒歩や自転車で安全・快適に移動できるまちづくりが進む
- 2 72% (45%) (B)地域の農業が大切にされ、地産地消が進み、市域内の食料自給率が上がっている
- 2 72% (41%) (E)空き家の改修や利活用が進み、あるものを大切にした住宅整備やまちづくりが進む
- 3 69% (39%) (A)商業・工業が発展し、工業団地も増え経済的な成長や活力が重んじられている
- 4 67% (42%) (G)車社会に対応して、駐車場やバイパスの整備など、車で移動が快適になる
- 5 66% (32%) (C)環境保全型の農業によって自然環境も良好に保たれ、コウノトリも増えている
- 6 63% (41%) (D)空き地や平地林などに新しい宅地開発が進み、定住する若い世代や移住者が増える



## 7. 望ましい小山市の都市環境のあり方〔クロス集計：年代との相関〕

年代ごとに整理して比較する。単位は、すべて「％」。

選択肢のうち「わからない」への回答および無記入の割合は除いている。

|                                          |              | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70～ | 全体 |    |
|------------------------------------------|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| A 商業・工業が発展し、工業団地も増え経済的な成長や活力が重んじられている    | そう望む         | 17  | 35  | 41  | 39  | 42  | 39  | 39 | 69 |
|                                          | どちらかと言えば望む   | 67  | 25  | 41  | 34  | 35  | 25  | 30 |    |
|                                          | どちらかと言えば望まない | 0   | 25  | 11  | 10  | 7   | 3   | 6  | 9  |
|                                          | 望まない         | 0   | 15  | 5   | 5   | 1   | 2   | 3  |    |
| B 地域の農業が大切にされ、地産地消が進み、市域内の食料自給率が上がっている   | そう望む         | 33  | 60  | 45  | 47  | 47  | 47  | 45 | 72 |
|                                          | どちらかと言えば望む   | 33  | 30  | 41  | 32  | 34  | 20  | 27 |    |
|                                          | どちらかと言えば望まない | 0   | 0   | 6   | 4   | 4   | 2   | 3  | 5  |
|                                          | 望まない         | 0   | 10  | 2   | 4   | 1   | 0   | 2  |    |
| C 環境保全型の農業によって自然環境も良好に保たれ、コウノトリも増えている    | そう望む         | 50  | 50  | 35  | 34  | 31  | 33  | 32 | 66 |
|                                          | どちらかと言えば望む   | 33  | 35  | 47  | 38  | 42  | 28  | 34 |    |
|                                          | どちらかと言えば望まない | 0   | 0   | 6   | 5   | 6   | 3   | 4  | 7  |
|                                          | 望まない         | 0   | 10  | 3   | 5   | 4   | 1   | 3  |    |
| D 空き地や平地林などに新しい宅地開発が進み定住する若い世代や移住者が増える   | そう望む         | 50  | 40  | 52  | 43  | 47  | 36  | 41 | 63 |
|                                          | どちらかと言えば望む   | 17  | 50  | 27  | 28  | 23  | 18  | 22 |    |
|                                          | どちらかと言えば望まない | 17  | 10  | 14  | 10  | 10  | 10  | 10 | 14 |
|                                          | 望まない         | 0   | 0   | 5   | 5   | 4   | 4   | 4  |    |
| E 空き家の改修や利活用が進み、あるものを大切にした住宅整備やまちづくりが進む  | そう望む         | 50  | 50  | 50  | 44  | 48  | 36  | 41 | 72 |
|                                          | どちらかと言えば望む   | 17  | 35  | 39  | 34  | 34  | 29  | 31 |    |
|                                          | どちらかと言えば望まない | 17  | 0   | 5   | 6   | 3   | 2   | 3  | 5  |
|                                          | 望まない         | 0   | 5   | 2   | 2   | 2   | 1   | 2  |    |
| F 公共交通機関の整備や、徒歩や自転車です安全・快適に移動できるまちづくりが進む | そう望む         | 67  | 70  | 70  | 64  | 58  | 51  | 56 | 76 |
|                                          | どちらかと言えば望む   | 0   | 25  | 23  | 20  | 25  | 17  | 20 |    |
|                                          | どちらかと言えば望まない | 17  | 0   | 3   | 2   | 1   | 1   | 2  | 3  |
|                                          | 望まない         | 0   | 0   | 2   | 2   | 1   | 1   | 1  |    |
| G 車社会に対応して、駐車場やバイパスの整備など、車での移動が快適になる     | そう望む         | 67  | 60  | 65  | 52  | 45  | 33  | 42 | 67 |
|                                          | どちらかと言えば望む   | 0   | 40  | 20  | 25  | 27  | 27  | 25 |    |
|                                          | どちらかと言えば望まない | 0   | 0   | 8   | 7   | 10  | 6   | 7  | 10 |
|                                          | 望まない         | 17  | 0   | 3   | 5   | 3   | 2   | 3  |    |

## 7. 望ましい小山市の都市環境のあり方〔自由記述〕

ここでは設問（２）の記入者 244 名の回答をテーマごとに掲載。複数の項目の記述がある場合は分割して掲載している場合もある。また、明らかな誤りと認識できる表記は書き換えているが、基本的には原文のままの記載とする。

（２）最後に、お考えやご提案を自由にお書きください。

＊例えば、上記の A から G であげた例以外に、20 年後、30 年後の望ましい小山市の都市環境のあり方として、お考えがありましたら教えてください。

＊また、小山駅周辺の都市環境を持つエリアも、それを取り込む田園環境が広がるエリアも、バランスと調和がとれ、より良い関係を作りながら持続可能なまちづくりを進めていくために、小山市が大切にしていすべきこと、具体的なお提案など、自由にお書きください。

### 1 | 小山市域の都市（地域）環境のあり方について

#### 1-1 平地林保全

◎平地林の利用→公園（バーベキュー）などの設置

#### 1-2 田園環境と都市環境の調和

◎年 1 回位、都市部と田園部の大きな交流の場が有ったら良いと思う。例えば筑西市、結城市、古河市の様に、市全体でのイベントに市内各地域の伝統芸能、産物出店ブースを集めたイベントが有ればよいと考える

◎絹地区は、自然環境が豊かな田園地帯を考えていると思うが、道路幅は狭いし、宴会ではタクシーを使うと高くつくので送迎を家族に依頼したり、または自分の車で行き代行で帰るといった、とても交通に不便さがある。田園地帯にするのは良いが、道路幅や交通の便の良さは必要であると考えます。＊地域コミュニティがあぶないと思っている

◎都市エリアも田園エリアも、住んでいる人、関わる人が各々最上級の誇りを持って生き抜いて行ってほしい。誇りを持つことって難しいと思いがちだけど、実は本当に簡単だと思う ◎田園環境エリアには、文化芸術の発展が望めるソフト＆ハードの進展が必要と思われる。小山市は交通の要衝という特徴を活かし、人口増加・経済の活性化を実現できる関東圏においても数少ない地方都市です。市街化周辺の住宅開発を積極的に進めて人口増を図るとともに、ハイテク系工業用地の開発誘致を民間ベースで実行できる環境を行政がすべきだと思います。人口 20 万人・工業製品出荷高の倍増を 20 年規模で計画してもらいたい ◎駅周辺だけでなく、田園地区の活性化を並行し、居住エリアを少し広げてほしい。ゆとりある居住空間の確保と利便性を保ちながら、地元での雇用拡大を目指してほしい ◎田園環境地域にも、若者が住みたいと思う施設や環境が必要と考えます ◎現在は都市エリアと田園エリアの住環境および労働環境に大きな差があり、田園エリアに住むことを望まない若者が多い。田園エリアの中にも文化的で魅力的な施設を充実し、労働環境を豊かにして調整区域を活性化していくことを望む

### 1-3 農業について

◎退職した人達が家庭菜園を楽しんでいます。それにより、人と人とのふれ合い、コミュニケーションも産まれます。安心安全な野菜を知人達にあげるととても喜ばれます。畑での孫たちと一緒に時間が幸せな一時ですね。人の命、自然ふれあいを大切にしたいまちづくりを望みます

◎小山市の農業、特に米作りに関しては近い将来、担い手や後継者不足による問題が大きくクローズアップして来ると思う。全国でも20年後には後継者の数が4分の1に激減とも言われている今、絹地区でも例にもれず農地所有者のほとんどが会社員で、休日に耕作したり、他の人に耕作してもらってる人が多く、最近では荒れた農地が目立っている。理想と現実のギャップに目を向け、農業問題に革命的な取り組みを期待する

◎先祖から受け継がれてきた田畑を手放す時が来ますが、貸している人に譲るより、1か所20万円の費用をこちらで出しても国へ戻した方が将来小山市のためにもなるのかと考えています

◎農業の高齢化に伴い、今後の農業がいかにか若者に興味を持たせ、魅力あるものとするため早急に取り組む必要があります。農業の学識専門家を呼び、勉強会、研修会を開いて受け入れることが必要かと思えます。また歴史、文化を大切にする小山市を望みます

◎人口激減時代に突入すると思う。人口が減るということがどういうことなのか、冷静に考え対応していけばと思う。特に農村部は後継者不足に悩まされるだけでなく、割に合わない米作りなどで壊滅状態と感じる。一方で食料自給率はとても大切なことである。荒れすさんだ田畑を見るのだけは避けたいと思うので、行政には先手を打つ対策を講じる必要があると思うし期待しています

◎・新しい宅地開発はもう不要。空き家、空地、耕作不能な農地等の有効利用。・農業も大規模農家のみの育成補助だけの施策から中小・兼業農家の育成も必要と考える ◎農業従事者、農地を守る農業対策（政策）

◎休日等に都市部の方が農村部に足を運んでもらえるような施設（入浴・農産物直売・ウォーキング等）を作って交流を図ることが大切だと思う。地産地消を進めて、農村部を活性化させる

### 1-4 商工業の誘致や振興について

◎文化施設などが充実し、楽しめること。（芸術、文化、図書館、文化センターなど） ◎文化的に豊かな町にしてほしい ◎小山市は鉄道の要衝となっていて、他県からのアクセスも良いのですが、結城市、栃木市と比べると観光スポットが少ないと思います

### 1-5 市街化調整区域について、市の開発や事業から取り残されている印象について

◎わずか数百メートル先の結城市（四つ京など）では、住宅やアパート、商業施設が増え、人が増えています。橋を挟んだだけで絹地区は人口が減少し、過疎が進んでいます。市街化調整区域の縛りはあるのですが、結城駅や東結城駅まで10分の好立地をもう少し活かす方法を考えられないでしょうか？

◎絹地区の市街化調整区域であるのでこれを無くして下さい

◎都市環境を重点に考えているようだが、過疎地域にももっと目を向けるべきだと思う。全体で考え盛り上げていかなければ、統一感のある小山市にならない

◎小山市でも南部が発展（間々田地区）等、桑・絹は取り残されている感がある。対応してもらいたい

◎この地区は小山のはずれなので、今までにも良い環境になったのは見た事がないので、何も期待して

いません

◎調整区域における上下水道の完備及び交通機関の整備された安心安全なまちづくり

◎（鶏が先か卵が先か、ということになってしまうかもしれませんが）市にとって一番大切なのは人だと思います（人口増加策を）。都市環境が良ければ人が流入するなどして増える。人が増えれば市に活気も経済力も上昇して都市環境も良くなるための施策が打てる。追加：子育てしやすい街づくり、経済的支援を望みます。人を増やすための根本

◎この周辺は調整区域なので、住みたいと思ってもなかなか住む場所がないイメージです。なので、人が増えないです。私は困っていないので気になりませんが、増やしたいのであればそこに問題もあるのではないかと思います

◎同じ税を納めているのに水道がひかれていないのが困る

◎農業振興地域であることから、市街化調整区域が多く、宅地開発どころか既存の宅地にも自由に家が建てられないなど、後継者の定住や新規参入者が制限されて人口増加を阻害している

◎小山駅周辺から遠く離れた絹地区の環境改善をもっと進めてほしい（現状は「おいてきぼり」にされている感じがします）

◎梁地区に商業施設がないので必要です。住居地域と幹線道路を区分けした住みやすい生活環境としてほしい

## 1-6 空き家・空き地の問題

◎農業や自然は小山市にとってかけがえのない資源だと思うのでそれは大切にしつつ、空家や空き地、利用されていない建物等を地域に根付いた利用方法で利用していき、若い世代もお年寄り世代も住みやすい小山市になって欲しい ◎空き家の減少 ◎空き家の増加、農地放棄が多くなり、抜本的な対策は急務。絹地区の人口は5分の1になるだろう

## 2 | 移動と交通について

### 2-1 車での移動

◎50号バイパスは筑西市内で南にカーブしているので、それをそのまま西へ伸ばして、新4号に接続する。そうすると小山東工業地帯の交通が改善される◎現在、小山市は高速道に恵まれていない為圏央道や北関東道への出入口（上三川 IC、五霞 IC）接続方法として新4号を利用しております。ところが新4号を通行する車の中にはスピード超過して車と車の合間を縫って走り去る車が多いのです。もし高速道のバイパスを五霞から東北道に抜ける道を建設してもらえたら交通料はかかるけど安心して運転が出来ると思います

### 2-2 公共交通機関について

◎絹地区に循環バスが来ない。結成駅や東結成駅まで行ければいい。そうすれば、車を使わず小山駅まで行ける

## 2-3 高齢化社会と脱・車社会

◎車がないと生活できないので、道路の整備をしてほしい ◎車がないと不便な地方を改善してほしい  
◎絹地区にも公共交通機関を充実させてほしい。老後が心配 ◎高齢化に応じた対策をお願いしたい。  
オンデマンドバス…いいようで良くない。前日予約制というのは、利用者からはいかがなものか… ◎  
年をとっても移動に不便なく暮らせるようになっていればいいと思う

## 3 | 生活環境や福祉などについて

### 3-1 教育、子育て世代・若い世代について

◎次世代の人達が定住する為の地域作りや、子育ての為の支援も更に充実が必要(特に経済面、ソフト面など総合的な支援) ◎子供たちが20年後、30年後まで、住みたいと思えるような、小山市の絹地区になって欲しい ◎街灯が少ないので、子供の下校時が不安である。道路の白線が消えている所が多々ある。(例えば、やすらぎの前道路～高持神社までの所) ◎絹地区には、子供達が安心して遊べる公園がない。公園があっても2～4歳児が安心安全に使える遊具、施設がない。公園を整備してほしいです ◎首都圏への通勤可能な小山市の立地を生かし若い世代が移り住んでくれるような小山市であつたらいいと思います ◎教育に関する選択肢が多く取れる環境がほしい ◎若い人々が好んで住み続けられ、他からも小山市に移住したいと思わせるような市にしていく事、子育て、教育、交通など「絹地区は不便だ」と若い人々は外に出てしまう ◎絹地区に子供が増えるようにしてもらいたい

### 3-2 高齢化社会について

◎高齢者の割合がさらに高まる絹地区で安心して暮せるよう、支援の拡充をお願いします。(今の行政は子育て世代への支援に重点が置かれていてバランスが良くないと感じています。)

### 3-3 地域コミュニティ、共生社会について

◎絹地区は小山市の過疎地です。50年前のままで発展なし。小山市といっても絹地区は過疎地で農業地域で若者に住みづらいところです。高齢化した土地で進歩発展もなく改善されない。自治会だ、ゴミ当番だ、神社祭だ、芝焼だ、堀さらいだ…と。おまけにゴミの区分もきちんとできない地区である。嫌なので筑西市へゴミを捨てに行っている

### 3-4 安全・安心な環境について

◎治安の良い都市環境であって欲しい

## 4 | 以上に分類されないご意見、現状に対する要望、暮らしてみてもの感想など

◎地域ごとに適合したことを行って欲しい ◎小山市の人口が増える政策を市は実行し経済の活性化をはかって欲しい ◎絹地区の農業が活気あるものになり、駅周辺への公共交通機関によるアクセスが便利になり、自宅から徒歩で行ける公園(小さくても良い)ができるなど、暮らしやすい、子育てしやすい地域になって欲しい ◎JR 小金井駅まで出るための交通手段が欲しい。交通の便が無い、農業後継者が

いない、耕作放棄地の増加、高齢化、役割負担の強制などムラ社会の暮らしにくさなど、子育て世代から敬遠され、未来が無い。将来の食料の安全保障を考えると、この地域で若い世代に農業をして貰えればと希望します ◎需要・目的・手段・予測が一致しない事業が多いのである ◎人口が少なく、ますます過疎化が進み若い人達が住みたくなくなる様な、環境になる様地域作り、夜になると街路灯も少ない為、暗く、夜はさみしく、もっと明るい町になってくれる事を願います ◎現在のままで良いと思う ◎小中学校の総廃合の推進、私立高校の誘致。過疎化が進んでいる地域に、農地の良地化を特例で認め、人口の増加と若者の定着を図る ◎田園都市との交通の便が良くなることを望みます。壊れそうな空き家の解体をすすめてほしい ◎梁あたりでこのアンケートに答えてもなにひとつかわらない！むだ ◎〇高齢者が増加する一方で若者の人数が減少しており空き家問題等が深刻化していること〇農業の後継者が少なく空き地の有効利用も〇〇する必要がある ◎人口増加 ◎絹地区に住む者として交通や買い物など結城市と連携してお互い情報交換や宣伝などしていけばいいと思う。工業団地に会社も、いろいろあるけれど、どんな会社があるか自分に興味のある会社があるかもっと知りたい ◎緑豊かなところではあるが、住みやすい小山市になってほしい ◎市中心から離れている地域にも人が集まってくるような魅力のある郊外を望む ◎活気があるのは良いが、自然を大切にしてほしい。河川敷のゴミ問題やバイパス脇のポイ捨て等も見ると心が痛む。地区の繋がり大切にしたいが、小規模学校内の親トラブルは移住をオススメできない。移住したいと言われても、人の繋がり方には特に気をつけるように言っている。(昔からの古いひとの考えが残っている) 学ぶ機会が少ない。習い事に行くのも遠い。公民館等を利用したりしてほしい。年配の方の移動手段を増やしてほしい ◎上水道の完備。小児科医の充実 ◎【2】の選択肢で小山市内の地域名が示されましたが、どの町内がどこに該当するのかわからず困りました。小山市内を示してある⑩の地区に分けた地図が欲しいのですが、どうしたら良いのでしょうか。広報等に見開きで載せてくれると保存できるのですが…。自治会に加入しない、あるいは退会する世帯が増えていると聞きます。若い世帯を自治会に参加させず、その親達の世代が代を譲らないのもその一因でしょうか。心配です。それぞれの事情もあるのですが ◎特にありません ◎・働く場(企業) 誘致、増加施策・農業後継者不足による農地利用対策 ◎新4国道沿線の桑地区の開発、東北本線羽川駅設置、防災無線・防犯カメラ設置等 ◎上福良に住んで26年たちますが、高齢者が非常に多く、子供も少ない環境で、バスも通ってなく、車を乗れない人たちが多く、一人世帯の家も多く、若い人達は仕事でなく、年寄りが病院も行けない、買い物も行けないという人が多く、隣近所と協力しあって生活しています。田んぼも皆、できる人に貸してやってもらっている。自分の家も同様ですが、貸してやってくれている人も、皆年寄りなので、いつ、やめる、と言われるかわからない。田んぼの心配、子どもの心配。年寄りも子どもも安心して暮らせる町作り。どうか何十年後には蛍が来る田園になってほしいものです。田んぼに囲まれたここが大好きです ◎小山市は財政再建のもと各地区の出張所をなくし、旧村をなくす検討をしているとのこと。まずは地域をいかに立て直すことを考えるべきでは ◎仕事もなく、ただ一日、一日終わっておフトンに入るだけ ◎中規模公園を何か所か作って欲しい。田園地帯の道路、歩道側草刈りを行ってほしい。特に通学路や自転車がよく通る道を ◎道路整備や環境をもっとよくしてほしい。防犯に取り組む ◎やる気を感じない。良い方向にはいかないと思う ◎都市部と農村部の交流する行事をもっと多く行ってほしい。・行政が主体となっている細かな行事が多いため、少しまとめてほしい ◎小山市の中心部やコウノトリ地区だけでなく、小山市全体を公平に捉えて支出経費(予算)配分を考えてほしい。空き家の激増に対して、法の改善、所有者への養成方法見直しを頑張してほしい ◎20年後、30

年後、絹地区がどのような。人口減等予測ができない ◎・市街化調整区域解除・土地改良組合の解散

## 5 | これからのまちづくり、未来ビジョンへの総合的なご意見

◎20 年後 30 年後は私自身も自分で車を運転して移動をすることが難しくなってくる年齢になってきます。そうなったときに、病院や小売店など徒歩圏内には何も無いので、生活が成り立つかが不安です。現状として、デマンドバスはとても便利なので、利用できる便数や曜日を増やしていただいたり、電話予約の他にもアプリなど誰でも使いやすい予約システムを考えていただくとさらにありがたいと思います。また、今後絹地区内の空き家が増えた場合を想定して、絹地区外の方も空き家や空き地を購入して移り住んでもらいやすくする取り組み（法整備や街づくり）が必要ないように感じます。絹地区は農家さんが多いので、新たな宅地の開発は必要無いと思いますが、これから先、やむを得ない事情で住んでいる家を手放す、そしてそれを買いたいという流れは絹地区でも出てくると感じます。私自身、空き家になっていた中古住宅を購入して絹地区外から引っ越してきましたが、地元の皆さんに温かく迎えていただき、そう言った意味でとても住み良い環境だと感じています。絹地区の温かい魅力を発信して小山市の中でも住み良い地区として存在感が出てくるとよいなあと感じます。自分が高齢者になった時にも、安心して日常生活を送ることができる絹地区であって欲しいです ◎都市環境と田園環境との格差をなくす政策であればいいと思いますが、現時点では、広がる傾向にあると感じます。日本の東京一極と同様に小山都市環境集中になり、田園環境はおざなりになる懸念を危惧します。今回のアンケートは初めて田園環境在住者の意見を聞いてくれる場になったが、設問が足らな過ぎると思うし、20 年後はどの地区でも限界地区になってしまうのではないかと思います。それより、今、何が出来るのかを発信して貰いたいものです ◎便利になる未来では、住環境はより一層重要になってくる。都会から緑のある地方へ人が流れとしたり、小山市は都内からちょうど良い地域。魅力のある暮らしができるハード面の充実を望みます。単身者も家族もが暮らしやすい。さらには広い福祉面の充実＜全ての人がからしやすい！と思える町づくりを＞も大切と思います！！ ◎子供達が安全に生活出来る地域として、安全な道路(車が抜け道として利用しない)古き良き時代の残る地域 ◎これだけ人口減少が生じるともはや人間と同様な AI を駆使したロボット参入による社会構造への革命を考えざるを得ないでしょう ◎地域、地区で差別、区別せずに公共機関、サービスを提供できる体制 ◎”都市部とより良い関係性を結び調和のとれた姿”、これはほぼ不可能です。絹地区の現況は、①他の地域から人を引き寄せる施設・会社・工場・スーパー等のお店がない。②病院等の医療機関もない。③バスも電車も走ってない。④生活物資の調達は直近で結城市しかない。⑤住民が寛げる公共施設もない等々。昔から発展しないで衰えるばかりの小山市一番の僻地である。子供達は地域から離脱、高齢者世帯と空き家が増加、さらに不審者や不審車両が横行するなど安心して暮らせる環境ではない。多額の税金が投入され年々発展し続ける小山駅周辺と寂れていく一方の我が地域との調和とは理解に苦しむ。”まずは地域住民が安心して会的な生活ができる環境基盤の整備と、過疎化を如何に食い止めるかが先決である”。それから魅力的な施策を構築するなどしないと都市部とより良い関係性を結ぶことができないのではないかと。魅力的なものがあれば自然に人は集まってきて活性・交流化するものである。根本的に順序が逆と思われます ◎東京近郊からの移住者、新規就農者増加が見込める施策はスピード感をもって進めると良いと思います。観光に関する施策は捨てたほうがよい。新幹線の駅があるというアクセスの良さが一番の魅力です。